

VI 高校生の行動類型 (タイプ)



1 学校適応の規定要因

生徒の意識や行動に関する質問全体の関連を、生徒の行動類型 (タイプ) を出してみよう。質問間の相互関連を回答の傾向から明らかにし、同時に回答者を類型化する方法として数量化Ⅲ類がある。この方法は、第Ⅲ章(Q7)、第Ⅳ章(Q9)、第Ⅴ章(Q10、Q15)でも用いている。

Q5の行動様式に関する質問の回答を、「よくある」と「ときどきある」を1つにまとめ、「ほとんどない」と「全然ない」を1つにまとめ、各回答を二者択一として数量化Ⅲ類にかけた。I軸の相関係数0.3453、II軸0.3052、III軸0.2798、IV軸0.2501であった。

まず最初に20の質問・40の回答を最も有効に仕分ける軸としてI軸が出てくる。I軸の得点の高い順にカテゴリースコアを示したのが表VI-1である。

まずI軸のマイナススコアが高いのは、「クラスの仕事を喜んで引き受ける」「先生にわからないところを質問する」「この学校の生徒であることは誇りである」「学校を休みたいという気持ちにならない」「先生に反発を感じない」等である。したがってI軸のマイナス方向は、勉強、クラス、教師、学校に対し十分適応し、生きがいと誇りを感じる傾向である。「学校適応」と名づける。

それに対して、その対極にあるI軸のプラス方向は、「学校生活は楽しくない」

表VI-1 I軸・II軸のカテゴリースコア

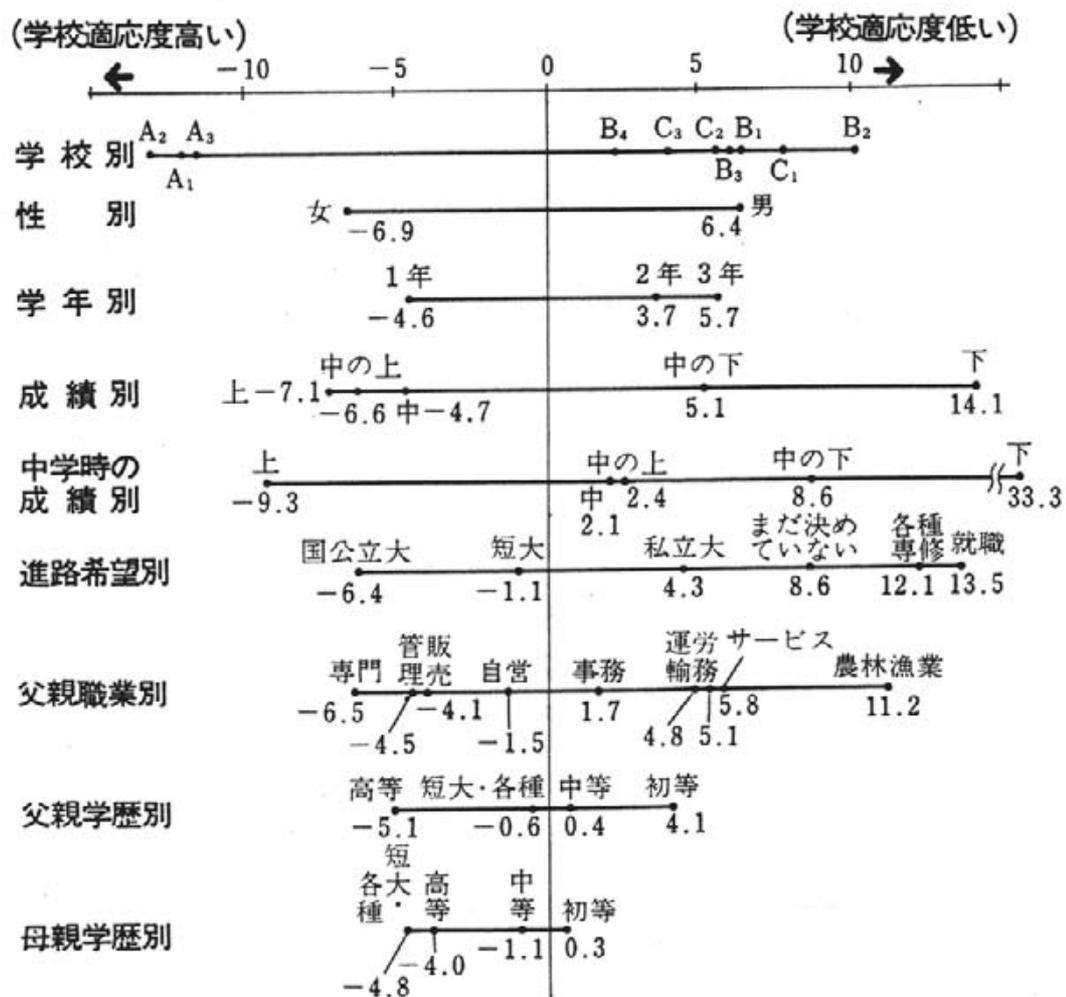
I 軸		II 軸	
学校適応	←	→	ユースカルチャー志向
<p>クラスの仕事を進んで引き受ける。 先生にわからないところを質問する。 この学校の生徒であることは誇りである。 学校を休みたいという気持ちにならない。 先生に反感を感じない。 夏休み前など、勉強の計画をたてる。 学校の規則は、きびしすぎない。 学校生活は楽しい。 学校で異性と話す。 友人と勉強や進路のことを話す。 家で予習・復習をする。 クラブ・部活動に打ち込む。</p> <p>中 略</p> <p>先生にわからないところを質問しない。 クラブ・部活動に打ち込まない。 学校を休みたいという気持ちになる。 この学校の生徒であることは誇りではない。 学校で異性と話さない。 この学校の規則はきびしすぎる。 夏休み前など、勉強の計画をたてない。 友人と勉強や進路のことを話さない。 今いるクラスにとけ込めない。 家で、予習・復習をしない。 学校へいっても、友だちとあまり話さない。 学校生活は楽しくない。</p>	<p>-2.06 -2.06 -1.49 -1.43 -1.28 -0.93 -0.80 -0.76 -0.68 -0.56 -0.54 -0.50</p>	<p>学校で異性と話さない。 学校へいっても友だちとあまり話さない。 先生に反感を感じない。 友人と勉強や進路のことを話さない。 ラジオの深夜放送やDJをきかない。 学校を休みたいという気持ちにならない。 学校帰りに友だちと街をぶらつかない。 この学校の規則はきびしすぎない。 今いるクラスにとけ込めない。 フォークやロックのコンサートにいかない。 はやく社会に出て働きたいとは思わない。</p> <p>中 略</p> <p>休みの日、1日中家にいることはない。 自殺する人の気持がわかる。 ラジオの深夜放送やDJをきく。 学校を休みたいという気持ちになる。 クラスの仕事をすすんで引きうける。 学校で異性と話す。 先生に反感を感じる。 はやく社会に出て働きたい。 学校帰りに友だちと街をぶらつく。 この学校の規則はきびしすぎる。 フォークやロックのコンサートに行く。</p>	<p>-2.61 -2.45 -1.94 -1.76 -1.37 -1.36 -1.15 -1.05 -1.01 -0.92 -0.91</p> <p>0.81 0.91 0.93 1.03 1.08 1.23 1.31 1.36 1.58 1.92 3.08</p>

非ユースカルチャー志向 ← → ユースカルチャー志向

学校適応 ← → 学校不適応

「学校へ行っても、友だちとあまり話さない」「家で予習・復習をしない」「今いるクラスにとけ込めない」「友人と勉強や進路のことを話さない」「勉強の計画をたてない」「この学校の規則はきびしすぎる」と、友人、勉強、クラス、教師、学校に対し不適応で、楽しくない毎日を送る傾向である。「学校不適応」と名づける。以上からI軸は、「学校適応」と「学校不適応」を仕分ける軸といふことができる。このように高校生の行動様式を仕分けるのに、「学校適応」か否かということが一番大きな基準となるといえよう。

図VI-1 I軸のサンプルスコア



この学校適応—不適応が、学校や生徒のどのような属性によって分化しているかをみてみよう。図VI-1は、属性別にI軸のスコアを示したものである。

学校別でみると、進学校であるAグループの学校の生徒の学校適応度はきわめて高い。BグループとCグループの学校は、グループ差より学校差が大きい。この学校差が何によって生じるかは、今回のデータからは明らかでない。

性別でみると、女子の方が男子より圧倒的に学校適応度が高い。女子が一般的におかれた状況に適応性が高いせい、学校で期待される行動が女性向であるということかもしれない。

学年別にみると、1年生は学校適応的であるが、2年・3年になると学校不適応感が高まる。これは平均でみたものであるが、3年になると学校適応と不適応の二極分化がすすんでいることも考えられる。

成績別では、上位の方が学校適応度が高く、下位が低い。中学時の成績（これは学校差によらない高校生全体の中での成績を示すとも考えられる）との相関も高い。これは現在の日本の学校のアチーブメント(学業成績)重視がきわめて強く、成績の上下が学校生活全体を楽しくしたり、つまらなくしたりしているからである。

高校卒業後の進路希望によっても、学校適応度が違ってくる。未来が現在を規定しているのである。職業科の生徒であれば違った結果が出るかもしれないが、今回の普通科を対象とした調査では、高い進路志望の生徒ほど学校適応度が高い。

また父親の職業が専門・管理、学歴が大学卒、母親の学歴が短大・大学卒の親をもつ生徒が、学校適応度が高い。学校という場がきわめて中産階級的価値の支配する場であり、その他の階層出身者にとって適応しにくいということが影響しているのかもしれない。

2 ユースカルチャー志向の規定要因

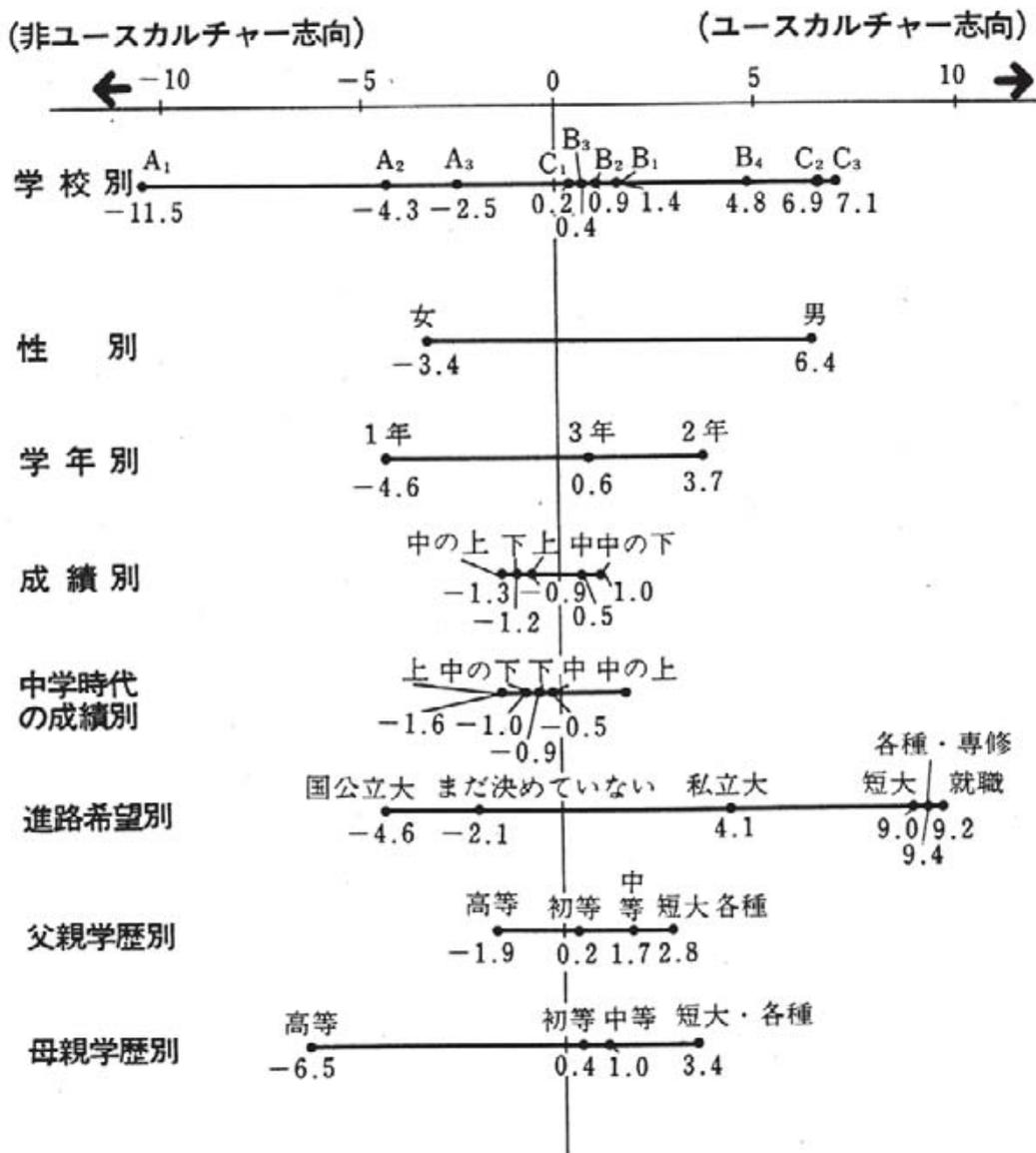
次にI軸に次いで生徒のタイプを仕分けするのに有効なII軸についてみてみよう。表VI-1のようにマイナス方向は、「学校で異性と話さない」「学校で友だちと話さない」「先生に反発を感じない」「友人と進路のことを話さない」「ラジオの深夜放送やDJをきかない」「学校を休みたくない」という回答に示される傾向である。つまり、青年期特有の友人志向、音楽への耽溺、おとなへの反発をほとんどもたない生徒である。「非ユースカルチャー志向」と名づける。

II軸のプラス方向をみてみると、「フォークや、ロックのコンサートに行く」「学校の規則はきびしすぎる」「学校帰りに友だちと街をぶらつく」「はやく社会に出て働きたい」「先生に反発を感じる」「学校で異性と話す」という回答の傾向である。音楽、異性、友人にコミットするユースカルチャー志向の強い傾向である。ここにはおとなの期待に反発する反抗的な態度や脱学校の態度傾向も含まれている。

「ユースカルチャー志向」と名づける。以上のようにII軸は、ユースカルチャー志向と非ユースカルチャー志向を仕分ける軸とすることができる。

このユースカルチャー志向—非ユースカルチャー志向（II軸）が、生徒のどのような属性によって分化しているかをみてみよう。図VI-2は属性別にII軸のスコアを示したものである。

図VI-2 II軸のサンプルスコア



学校グループ別にみると、A—非ユースカルチャー志向、B、C—ユースカルチャー志向という傾向は多少ある。しかし個々の学校差の方が大きい。受験のみ重視の学校経営が特色のA₁は、ユースカルチャー志向の弱い生徒が多く、部活動・学校行事重視のA₂、A₃校は、ユースカルチャー志向が強まる。ユースカルチャー志向の強いC₂、C₃、B₄校に共通している学校経営上の特色は規則重視である。きびしい規則に対する反発からユースカルチャーへのコミットメントは逆に強まるのである。性別では、女子より男子にユースカルチャー志向が圧倒的に強い。

成績別では、中以下で多少強く、中の上以上で多少弱くなるが、あまり差がないのが特徴である。

進路希望別では、国公立大志望者で弱く、就職希望者で強くなるという差違が顕著にある。

父母学歴別に見ると、大学卒の親をもつ生徒では非ユースカルチャー志向になる傾向があらわれている。

3 4つのタイプ

Ⅲ軸は内向性—外向性、Ⅳ軸は学校役割同調—個人的趣味型を仕分ける軸であるが、相関係数の値が低いことから、Ⅲ軸以下の考察を省略する。

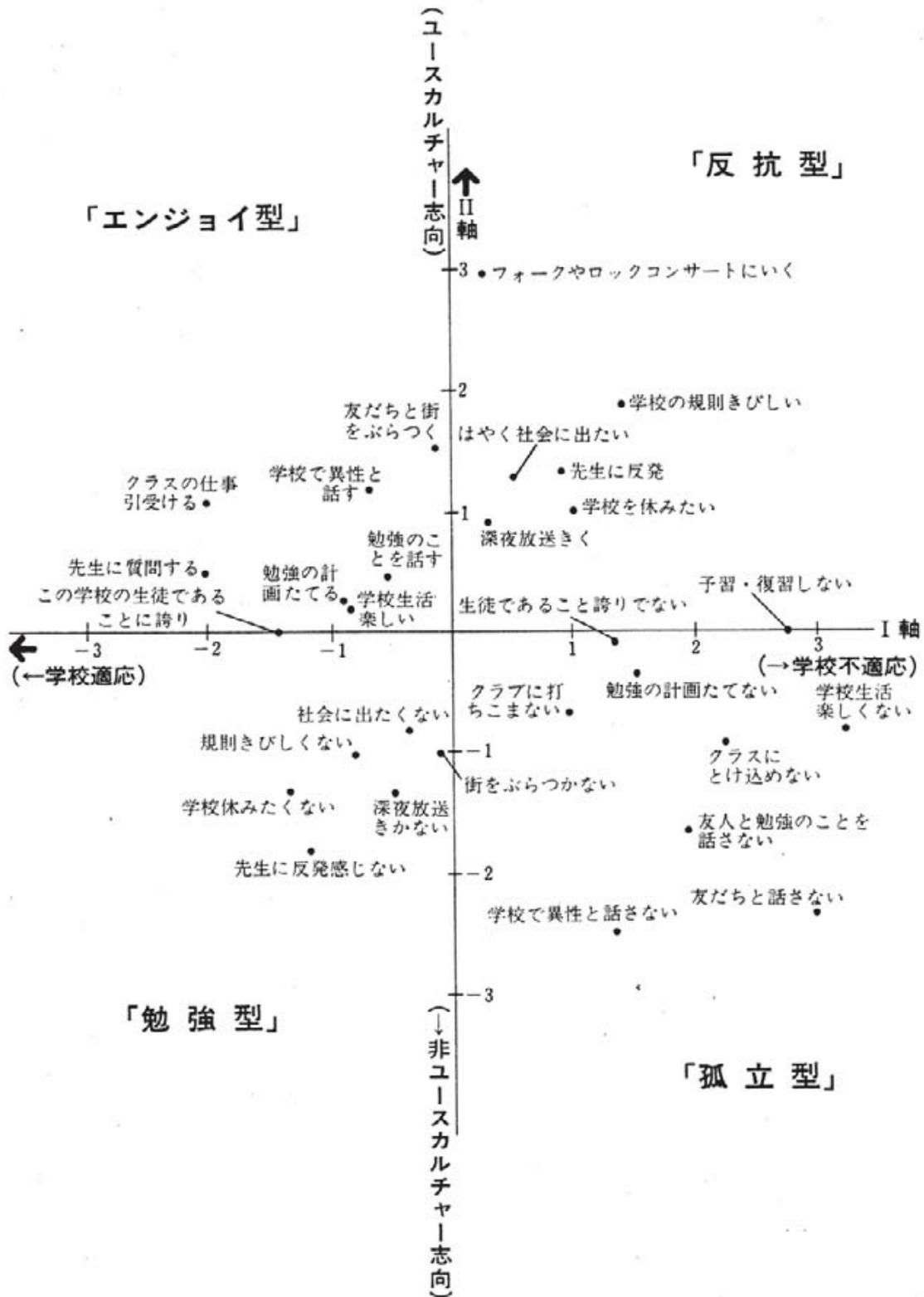
そこでお互いに独立な関係があるⅠ軸とⅡ軸を交差させることによって、生徒の4つの行動類型(タイプ)をつくることができる。図Ⅵ-3は、主なカテゴリーのサンプルスコアをプロットしたものである。それぞれの象限の特徴を次にみてみよう。

第Ⅰ象限(学校不適応・ユースカルチャー志向)——「学校の規則はきびしい」、「早く社会に出て働きたい」、「先生に反発を感じる」、「学校を休みたい」、「フォークやロックのコンサートに行く」という回答に見られるタイプで、学校生活に不適応でその代償を音楽や学校外の活動に求めるタイプである。コーヘンの「非行少年」、インジャーの「反抗文化」(contra-culture)の定義がこれにあたる。「反抗型」と名づける。

第Ⅱ象限(学校適応・ユースカルチャー志向)——「クラスの仕事を引き受ける」、「先生に質問する」、「学校生活は楽しい」、「学校で異性と話す」、「友だちと街をぶらつく」という回答に見られるタイプで、勉強に偏らないで学校生活に適応し、教師—生徒関係やクラスでの人間関係も良好で、高校生活を楽しんでいるタイプである。「エンジョイ型」と名付ける。

第Ⅲ象限(学校適応・非ユースカルチャー志向)——「先生に親しみを感じる」、「学校を休みたくない」、「学校の規則はきびしくない」、「深夜放送はきかない」、「社会に出たくない」と、ユースカルチャーにはそれほど興味を示さず、おとなか

図VI-3 高校生の行動類型 (タイプ) ($\times 10^{-1}$)



らの期待に従順な生徒である。「勉強型」と名づける。

第Ⅳ象限(学校不適応・非ユースカルチャー志向)——「学校で友だちや異性と話さない」、「クラスにとけこめない」、「クラブに打ち込まない」、「学校生活は楽しくない」という回答の傾向を示すタイプで、学校、クラス、友人すべてに対して不適応で、一人で閉じ込めりがちなタイプである。「孤立型」と名づける。

以上のように学校適応—不適応(Ⅰ軸)、ユースカルチャー志向—非ユースカルチャー志向(Ⅱ軸)という、生徒の行動を仕分ける2つの軸を交差させることによって、「反抗型」「エンジョイ型」「勉強型」「孤立型」という4つのタイプの高校生像を浮かび上がらせることができる。

4 4つのタイプの規定要因

次に、このような生徒のタイプを分化させている要因について検討してみよう。生徒の属性別に第Ⅰ軸と第Ⅱ軸に関して、サンプルスコアの平均を示したのが図Ⅵ-4である。

男女別に見ると、女子は学校適応・ユースカルチャー志向の「エンジョイ型」の方向に、男子は学校不適応・非ユースカルチャー志向の「孤立型」の方向に位置していることがわかる。学年別には男女とも同じ方向へ動く。1年生が最も、「勉強型」であり、2年生は学校不適応、3年生はユースカルチャー志向の度合いが強まっている。

成績別にみると、男女ともⅠ軸(学校適応—不適応)にそって、左右に動く。成績上位者ほど学校適応的になる。

進路希望別にみると、Ⅰ軸方向(学校適応)の動きと同時にⅡ軸方向(ユースカルチャー志向)の動きも加わる。国公立大学希望者は学校適応・非ユースカルチャー志向の「勉強型」、就職、各種学校希望者は学校不適応・ユースカルチャー志向の「反抗型」となる。

部参加別では、部参加者の方が学校適応・ユースカルチャー志向が高まる。

親の職業別には、専門・管理・販売・自営、学歴別には高等、短大各種のこどもの方が学校適応的という傾向がある。(図Ⅵ-1)

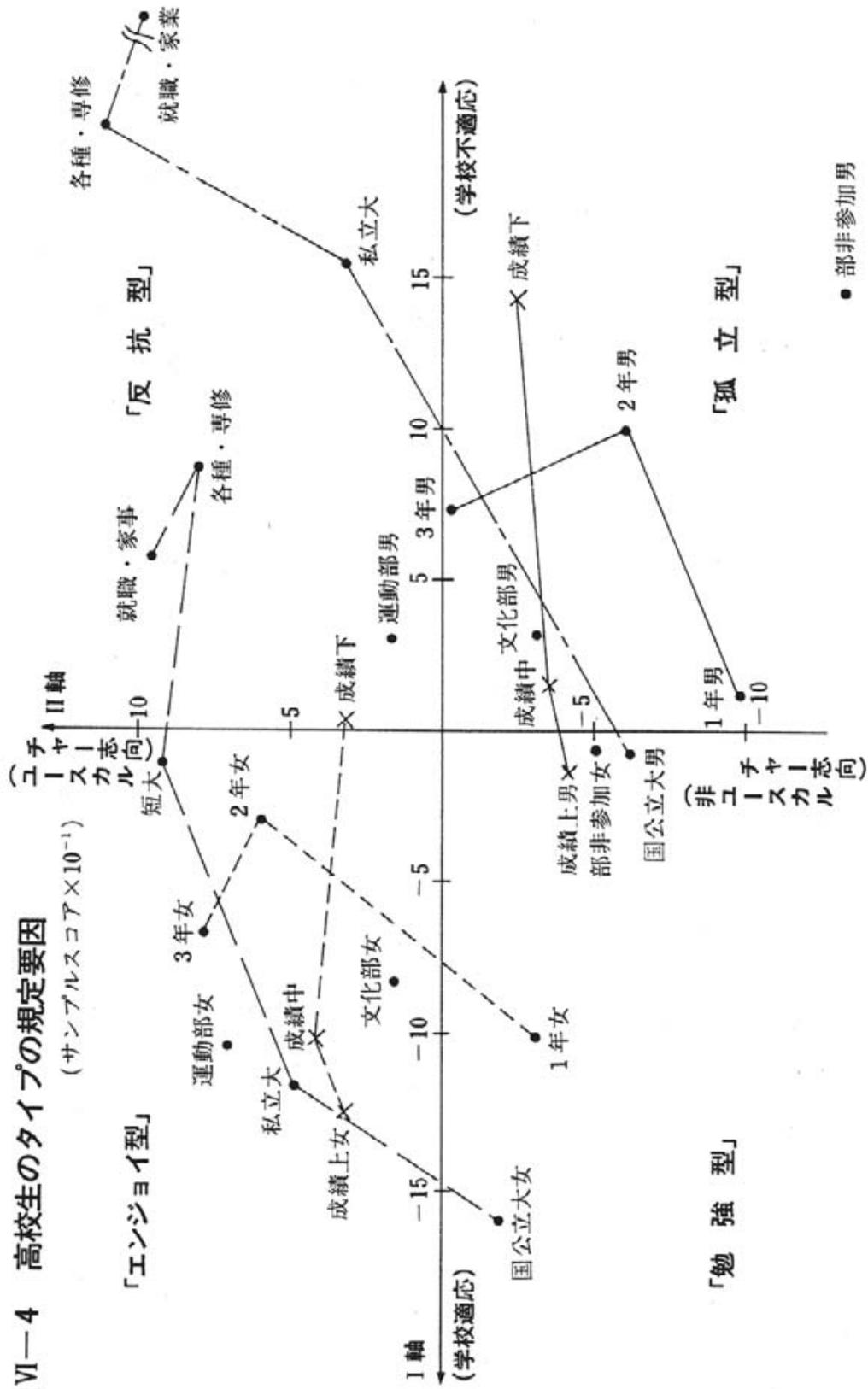
5 4つのタイプの特性

次にこの高校生の4つのタイプが、他の質問項目の回答とどのような関係があるかを見て、この高校生の4つのタイプをさらに詳しく特徴づけよう。関連をみるのは、「生活時間」(Q4)、「生活の比重」(Q6)、「規範意識」(Q9)、「自我像」(Q10)、「将来像」(Q15)である。

1) 生徒のタイプと生活時間

生活時間でみると、表Ⅵ-2のように、家での勉強時間が多いのは「勉強型」

図VI-4 高校生のタイプの規定要因



と「エンジョイ型」である。テレビ視聴時間は、「反抗型」と「孤立型」に多い。外出時間は「反抗型」が圧倒的に多い。家の手伝いは「エンジョイ型」と「反抗型」が多い。

「勉強型」は勉強中心の生活を送り、他の活動を楽しんだり、家の手伝いをしたりする余裕がない生活を送っている。

「エンジョイ型」は1番社会性があり、勉強やそれ以外の活動にもバランスのとれた生活時間の配分をしている。

「反抗型」は勉強時間は少なく、成績獲得競争で敗れたらいらを、テレビを見ることや外で友だちと過ごすことで、まぎらわしている。

「孤立型」はすべての活動に消極的で、テレビを見ること以外、何もしないで毎日を過ごしていく。

表VI-2 生活時間・生活の比重×生徒のタイプ

(%)

		反抗型	エンジョイ型	勉強型	孤立型
生活時間	家での勉強時間 3時間以上	△12.8	20.9	<u>25.2</u>	15.3
	テレビ視聴時間 3時間以上	<u>13.3</u>	△ 5.7	△ 5.7	12.3
	外出時間 1時間以上	<u>30.4</u>	19.3	△12.0	14.1
	家の手伝い 30分以上	26.8	<u>28.1</u>	23.1	△17.2
生活の比重「すべて」+「かなり」	A 受験や勉強	△32.9	51.4	<u>57.3</u>	36.9
	B クラブ・部活動	30.6	<u>41.6</u>	32.0	△23.9
	C 友だち(同性)	56.3	<u>58.1</u>	47.6	△38.9
	D 異性	<u>23.8</u>	22.0	△ 9.3	10.0
	E 音楽	<u>37.8</u>	32.7	△25.1	27.6
	F テレビをみる	25.3	△14.4	15.6	<u>27.9</u>
	G アルバイト	<u>5.6</u>	2.1	△ 1.0	2.9

注) —は最大値, △は最小値

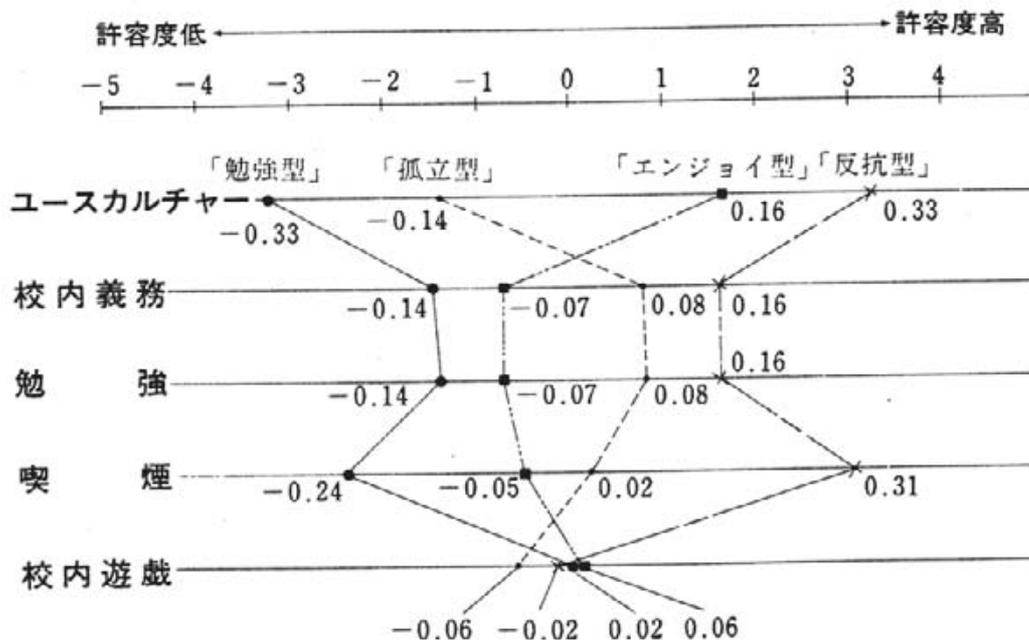
2) 生徒のタイプと規範意識

次に高校生の規範意識とのかかわりで、高校生のタイプを特徴づけよう。高校生の規範意識の構造として5つの因子「ユースカルチャー」「校内義務」「勉強」「喫煙」「校内遊戯」が析出されている（第IV章参照）

高校生のタイプ別に、各因子に対する逸脱の許容度をみると、図VI-5のように、「反抗型」がほとんどの因子で逸脱への許容度がもっとも高く、「勉強型」が許容度がもっとも低くなっている。「孤立型」と「エンジョイ型」は中間に位置する。

「勉強型」が社会や学校の規範にもっとも従順であり、「反抗型」が社会や学校の規範にはもっとも反発を感じ、逸脱行動をおこす頻度も、多くなっている。「エンジョイ型」は同年齢の仲間集団を大事にし、特にユースカルチャーに対して許容的になっている。「孤立型」はユースカルチャーには関心を示さず、学校から与えられた規範（校内義務・勉強）に忠実である。規範意識でみる限り「勉強型」がおとなしく、「反抗型」にしたたかさがあらわれている。

図VI-5 規範意識の構造×生徒のタイプ



注) 規範意識の構造については表IV-2参照のこと

3) 生徒のタイプと自我像

次に生徒のタイプと生徒の自我像（セルフイメージ）との関係を見てみよう。これは第V章で詳しく分析したように、先生からどういう生徒だと思われているかという自己評価である。学校において評価の実権を握っているのは教師であり、教師の評価が自我像をつくるのに大きく関係している。

表VI-3 生徒のタイプと自我像

	反抗型	エンジ ョイ型	勉強型	孤立型
01 授業中おしゃべりの多い生徒だ	<u>19.1</u>	16.2	△ 8.2	11.3
02 校則をきちんと守る生徒だ	△15.3	20.2	<u>27.0</u>	21.7
03 こつこつ勉強する生徒だ	△ 6.6	7.7	<u>9.0</u>	7.9
04 成績の良い生徒だ	△ 5.3	5.5	△ 5.3	<u>5.8</u>
05 ユーモアのある生徒だ	18.9	<u>24.4</u>	13.9	△10.2
06 反抗的な生徒だ	<u>15.1</u>	6.0	△ 3.6	9.8
07 本当は、もっと勉強のできる生徒だ	<u>22.5</u>	20.7	△14.1	15.1
08 遊ぶことの好きな生徒だ	<u>43.7</u>	38.8	△24.3	28.6
09 友だちづきあいのよい生徒だ	35.7	<u>45.6</u>	30.4	△16.2
10 独創的な考えをする生徒だ	13.2	13.2	△ 9.3	9.7
11 スポーツの得意な生徒だ	20.0	<u>20.2</u>	13.4	△10.2
12 クラスの中で人気のある生徒だ	9.1	<u>9.2</u>	5.0	△ 4.3
13 異性に人気のある生徒だ	<u>7.4</u>	5.4	△ 3.2	3.3
14 目立たない生徒だ	16.0	△15.4	21.2	<u>33.4</u>
15 やってよいことといけないことの判断のできる生徒だ	△21.8	29.1	<u>33.0</u>	22.0
16 将来偉くなる生徒だ	<u>10.1</u>	7.4	△ 5.2	7.5
17 この学校の誇りとする生徒だ	<u>6.6</u>	6.0	△ 4.9	5.3

注) ——最大値, △最小値

「そう思われている」のパーセント

表VI-3でみるように「勉強型」の生徒が他に比較して自己評価が高いのは、「校則をよく守る」、「こつこつ勉強する」、「やって良いことといけないことの判断ができる」という項目である。おとなの期待に応えるおとなしい良い子という自我像を描いている。遊び、独創性、異性に人気、将来偉くなるという幅広い野心的な面では自分は優れていないと自己評価している。

「反抗型」の生徒は、遊ぶ事が好き、本当はもっと勉強ができる、授業中おしゃべりが多い、反動的、将来偉くなる、異性に人気がある生徒だと先生から思われていると感じている。現在は遊んでおとなに反抗してばかりいるが、将来は、一旗あげてやろうというしたたかな野心をもっている。

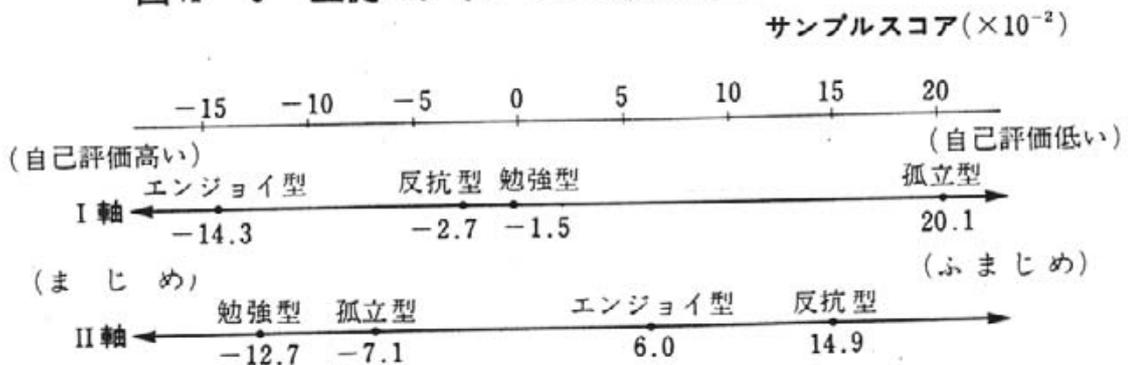
「エンジョイ型」の生徒は、友だちづきあいの良い、ユーモアがある、スポーツが得意な、目立つ生徒と自己評価している。周囲の人間関係を大事にする傾向をもっている。

「孤立型」の生徒は、目立たない生徒で、ユーモアがなく、友だちづきあいが悪く、スポーツもだめで、人から好かれない人間として自己評価している。

これを、数量化Ⅲ類で出した軸との関係でみてみよう。第V章で示したように自我像については2つの軸が見い出されている。I軸、自己評価高い—低い、II軸、まじめ—ふまじめである。

図VI-6はI軸とII軸に高校生のタイプをプロットしたものである。I軸（自己評価高一低）で見ると自己評価の高いのは、「エンジョイ型」「反抗型」「勉強型」「孤立型」の順である。自己評価の高さは、自分の性格や将来に対し、多くの可能性を認め、自信に満ちていることを示す。「勉強型」は勉強中心の生活を送り、必ずしもいろいろな分野で自信があるわけではないことがわかる。「孤立型」は、教師から自分はダメな人間と思われているという消極的な自己イメージをもっている。

図VI-6 生徒のタイプ×自我像の構造



次にⅡ軸（まじめ—ふまじめ）についてみると、まじめであるという自己評価の高さは「勉強型」「孤立型」「エンジョイ型」「反抗型」の順となっている。まじめな「勉強型」とふまじめな「反抗型」は対極に位置する。「孤立型」はふまじめになる度量もない。

以上のように教師にどう思われているかという自己評価でみると、4つのタイプの高校生は、それぞれ特徴のある傾向を示す。従順でおとなしい「勉強型」の生徒、遊ぶことが好きで多少逸脱もする「反抗型」の生徒、目立たない「孤立型」の生徒という自己評価である。

教師からの「～の生徒である」という評価がもとになって自我像が形づくられ、「予言の自己成就」のメカニズムによって、実際の行動を自己イメージに合わせていくプロセスが進行しているのである。教師の生徒に対する評価の重要性が認識される必要がある。

4) 生徒のタイプと将来像

次に生徒のタイプと将来像に関する質問との関係を見てみよう。19の項目に関して努力すればできるかという質問であるが、「できる」の平均は、「エンジョイ型」(49.3%)、「勉強型」(47.4%)、「反抗型」(44.1%)、「孤立型」(41.5%)という順で、「エンジョイ型」がもっとも将来に対して野心的で明るい見通しを持っている。そして「孤立型」がもっとも悲観的になっている。

それぞれの項目を生徒のタイプ別にみてみよう。(表Ⅵ-4)

「勉強型」は、「一流大学に入る」「10番以内の成績に入る」「学者・研究者になる」「中央官庁に入る」「医者や弁護士になる」という勉強や学歴がものをいう職業につくことができると考えている。そして、「政治家」、「スポーツ選手」、「タレント」といった個性的な才能の要求される職業にはつけないと考えている。

「反抗型」の生徒は「自分の店を持つ」「お金持になる」「有名なタレントになる」ことができると思っており、既存の官僚制秩序を登っていくのではなく、自分の実力によってしたたかに生き抜いていくバイタリティーをもっている。地位志向よりは、金銭的志向が高いのである。

「エンジョイ型」の生徒は、「恋愛結婚をする」「仕事と家庭を両立させる」「趣味に合った暮らしをする」「地方公務員になる」「社会のためにつくす人になる」「外国でくらす」「大企業に就職する」「芸術関係の仕事につく」ことが可能と考えている。出世を望むよりは、自分の能力や興味にあった仕事を見つけ、周囲の人間関係も大事にし、社会のためにもつくしたいというバランスのとれた将来像を描いている。

「孤立型」の生徒は、将来に対しても、きわめて消極的、悲観的である。出世もできそうもなければ、恋愛結婚も、趣味にあったくらしもできそうもないと

表VI-4 生徒のタイプ×将来像

(%)

	反抗型	エンジョイ型	勉強型	孤立型
A 学年で10番以内の成績に入る	△33.6	41.0	<u>45.0</u>	37.2
B 一流大学に入る	△28.0	42.7	<u>46.8</u>	33.4
C どこでもいいから大学に入る	△81.1	90.3	<u>91.5</u>	84.4
D 大企業に就職する	△41.6	<u>55.5</u>	54.3	43.5
E 中央官庁に入る	23.1	26.7	<u>29.4</u>	△22.7
F 地方公務員になる	△61.3	<u>74.8</u>	72.5	61.7
G 医師や弁護士になる	△14.1	17.9	<u>21.0</u>	18.0
H 政治家になる	10.9	10.7	△10.3	<u>11.3</u>
I 有名なタレントになる	<u>17.7</u>	15.9	△11.9	12.8
J 芸術関係の仕事につく	38.4	<u>40.7</u>	35.2	△31.5
K 学者・研究者になる	△20.8	27.4	<u>30.4</u>	25.3
L プロのスポーツ選手になる	11.7	<u>13.6</u>	△9.6	9.7
M 自分の店をもつ	<u>67.5</u>	66.0	56.7	△52.8
N お金持(上位10%)になる	<u>23.1</u>	20.5	19.2	△17.8
O 恋愛結婚をする	85.9	<u>89.8</u>	82.1	△72.4
P 外国でくらす	48.1	<u>53.0</u>	48.6	△39.9
Q 趣味にあったくらしをする	85.5	<u>86.5</u>	80.7	△75.4
R 仕事と家庭を両立させる	86.0	<u>90.8</u>	85.9	△81.4
S 社会のためにつくす人になる	58.7	<u>72.3</u>	69.5	△57.5
全 体 平 均	44.1	49.3	47.4	41.5

注) 「必ずできる」+「たぶんできる」のパーセント、—最大値、△最小値

考えている。このような消極的で覇気のない高校生がどのような背景から生まれてきたかを検討する必要がある。

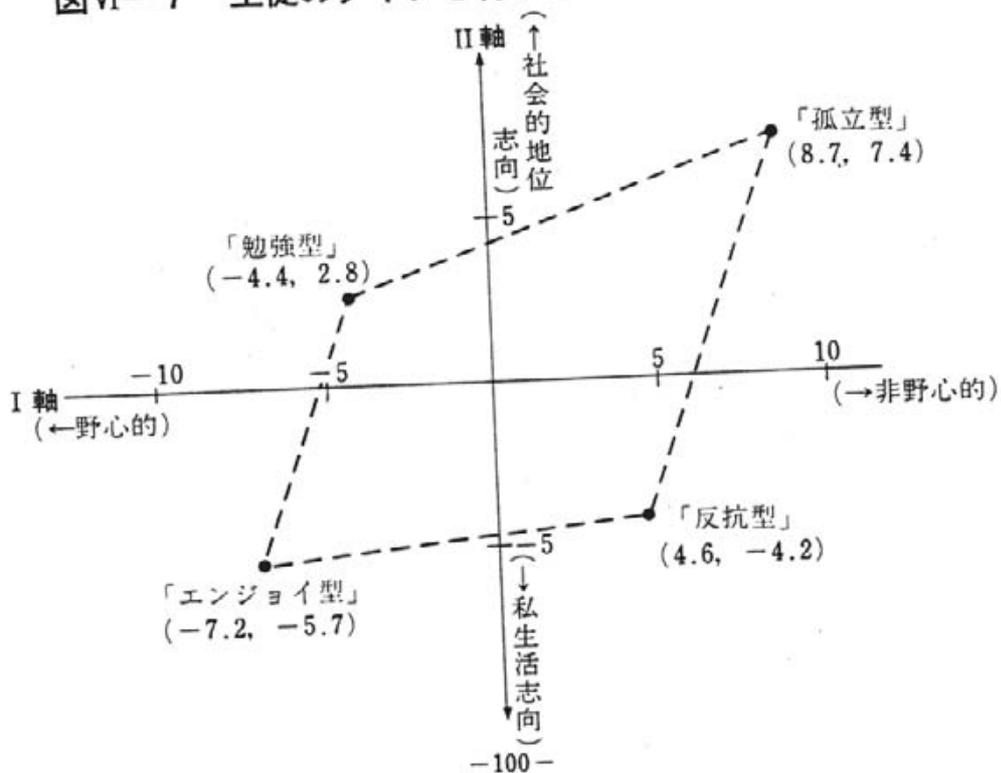
次に、数量化Ⅲ類によって出された将来像のパターンに生徒のタイプを位置づけてみよう。生徒の将来像を仕分ける軸として、I軸野心度高い—低い、II軸私生活志向度高い—低い、III軸堅実度高い—低いという軸が出てくる。

生徒の4つのタイプをそれに位置づけてみよう。図VI-7は、I軸とII軸に生徒のタイプをプロットしたものである。「勉強型」は野心的で高い社会的地位志向をもっていることがわかる。たとえば「一流大学に入る」、「中央官庁に入る」、「医師や弁護士になる」である。「エンジョイ型」は野心的で私生活重視の志向をもっている。たとえば外国でくらす、芸術関係の仕事につくなどである。「反抗型」は非野心的で私生活重視の志向をもっている。たとえば「一流大学に入れない」、「恋愛結婚できない」などである。「孤立型」は非野心的で社会的地位志向をもっている。たとえば「仕事と家庭を両立できない」、「趣味にあったくらしができない」、「大学に入れない」などである。

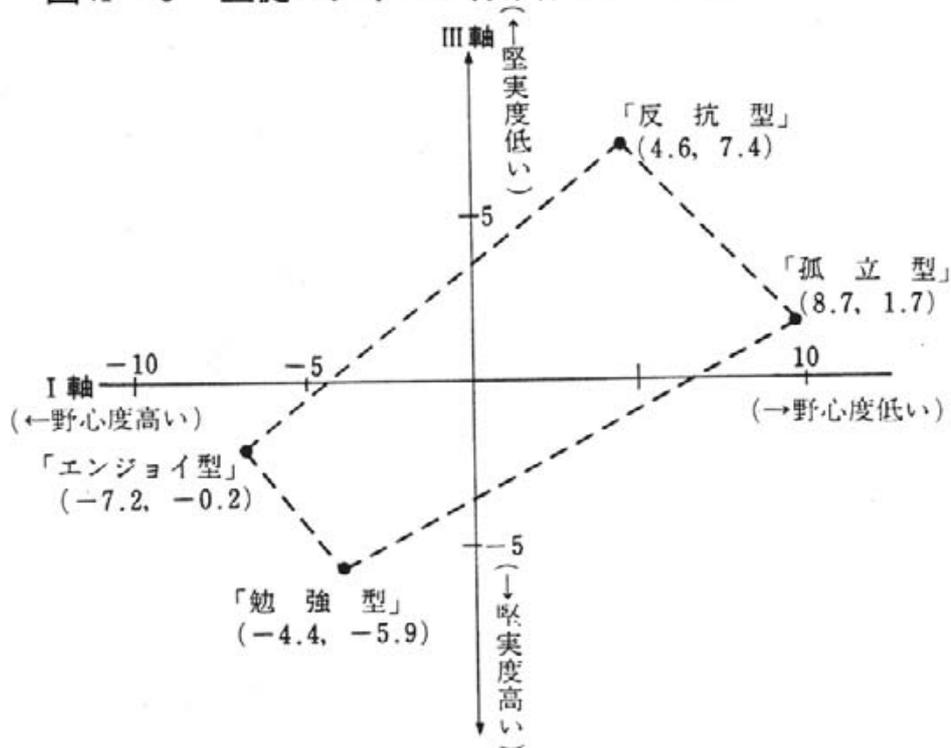
図VI-8は、I軸とIII軸に生徒のタイプをプロットしたものである。「勉強型」は堅実的、「エンジョイ型」は野心的、「反抗型」は非堅実的、「孤立型」は非野心的というそれぞれの軸に近い将来像をもっていることがわかる。

以上のように生徒の各タイプは、その描く将来像に関してもそれぞれ特徴をもっていることがわかる。

図VI-7 生徒のタイプと将来像(I軸・II軸)



図VI-8 生徒のタイプと将来像(I軸・III軸)



5) まとめ

以上みてきたクロス集計をもとに、高校生の4つのタイプをもう一度まとめておこう。

「勉強型」—勉強中心の日本の高校の学校文化に最も適合し、生徒としての役割を最も内面化し、勉強中心の生活を送る高校生。友人、異性、音楽といった「ユースカルチャー」への関心は薄く、一流大学・一流企業といった既存の出世ルートに乗ることを期待している。おとなしく、従順でよい子ではあるが、少し冒険心や挑戦性の欠ける高校生である。

「反抗型」—「勉強型」の対極に位置し、勉強は嫌いで、生徒役割から逸脱することも多く、おとなや学校に対する反発は強い。異性、音楽、喫煙といった「ユースカルチャー」への関与は最も高い。将来は何かをしてお金持になってやろうという野心を持っている。

「エンジョイ型」—勉強だけでなく、いろいろな活動に活発で、周囲の人間関係を大事にし、将来に対しても自分の才能を見きわめ、バランスのとれた選択をしている。「ユースカルチャー」に対してもかなり関心をもっているが、決して大きく逸脱することはない。

「孤立型」—高校生の三無主義（無気力、無関心、無感動）を地でいくようなタイプ。勉強も友人関係もめんどろで、何もせず家でゴロゴロするのが好き、社会の規範や学校の規則に対しては従順。将来のやりたいこともほとんどない。

おわりに

今回の調査結果から現在の高校教育のあり方について、次のような点を指摘できるであろう。

- ① 高校進学率の上昇した現在、多様な能力・適性・興味・関心・動機をもった生徒が、高校に入学してきている。生徒の多様性を生かす教育方法が工夫されねばならない。
- ② 現在の高校生の生活の中心は、第1に友人関係におかれ、ヨコ関係を通して、タテ関係では学べない遊び・友情・連帯・自立といった価値を学んでいる。生徒同士のインフォーマルな交友関係を配慮した教育経営が工夫されねばならない。
- ③ 1年生では、きまじめ。2年生は、のびのび。3年生は、受験の重圧を感じている。男子は学校不適応的、女子は学校適応的である。生徒の特性に応じた柔軟な教育指導が望まれる。
- ④ 一流進学校に進学すると、その校風のよい影響を受ける場合もあるが、逆に成績が下位に位置し、自信を失う場合もある。少しランクの低い学校で上位の成績をとる方が、積極的な自我像をもち、野心をもつことができる。中学時代の進路指導に工夫が必要である。
- ⑤ 学校の方針や規則に生徒を過度に適応させることは、生徒のいきいきとした意欲を喪失させることにつながる。学校の的確な状況判断に基づく、適度な寛容が必要である。
- ⑥ 生徒の外見的な行動によって、生徒の動機を判断してはならない。教師の権威に基づく指導だけでは、生徒は形式的に教師に従うだけで、その内実は伴わないことになる。

規則のきびしい学校に多い「きまじめ型」の生徒には、高校生らしい覇気がない。

- ⑦ 学校に不適応な生徒は、学校外のユースカルチャーに代償を求め、自己の存在意義をみいだそうとする。
- ⑧ 生徒は、教師から成績のよしあしで、自分が評価されていると感じている。成績だけでない多様な基準で、生徒の能力を評価し、それぞれの生徒にふさわしい役割を与え、生徒に自信をもたせることが大切である。
- ⑨ 今の高校生は、全体的にみると、従順で、おとなしく、野心もいだいていない。これは、現在の日本の高校が、生徒の意欲を喪失させるような構造をもっているせいである。アメリカの高校生と比較した時、日本の高校生の社会性のなさは目立つといわれる。学校を社会から孤立させるのではなく、社会の中で積極的に高校生を育てていく必要がある。

現代社会の特質と多様化した高校生の実態を、的確につかんだ教育経営の工夫によって、高校教育は改善されていくであろう。

調査票見本

Q1 学校名 高校

Q2 学年 1 1年 2 2年 3 3年

Q3 性別 1 男 2 女

Q4 あなたはふだん、次のことをどの位しますか。A～Dのそれぞれについてあてはまる番号に○を付けて下さい。(ただし、土曜日、休日を除いた日の平均時間を考えて下さい。)

	ほとんどしない	30分位まで	30分から1時間	1時間から2時間	2時間から3時間	3時間から4時間	4時間から5時間	5時間以上	
A. 家での勉強	1	2	3	4	5	6	7	8	9
B. テレビをみる	1	2	3	4	5	6	7	8	10
C. 外出時間 (外での遊び、ショッピング、友人宅訪問)	1	2	3	4	5	6	7	8	11
D. 家の手伝い・アルバイト	1	2	3	4	5	6	7	8	12

Q5 あなたは、次のようなことをしたり(感じたり)することが、どのくらいありますか。A～Tのそれぞれについて、当てはまる番号に○を付けて下さい。

	1 よくある	2 ときどきある	3 ほとんどない	4 全然ない	
A. 家で予習・復習をする	1	2	3	4	13
B. 先生にわからないところを質問する	1	2	3	4	14
C. 友人と勉強や進路のことを話す	1	2	3	4	15
D. 夏休み前など勉強の計画をたてる	1	2	3	4	16
E. 学校で異性と話す	1	2	3	4	17
F. クラブ・部活動に打ち込む	1	2	3	4	18
G. クラスの仕事(委員など)を進んで引き受ける	1	2	3	4	19
H. 学校生活は楽しいと感じる	1	2	3	4	20
I. 学校帰りに友だちと街をぶらつく	1	2	3	4	21
J. ラジオの深夜放送やDJをきく	1	2	3	4	22
K. フォークやロックのコンサートに行く	1	2	3	4	23
L. 学校を休みたいという気持ちになる	1	2	3	4	24
M. 学校へいっても友だちとあまり話さない	1	2	3	4	25
N. 今いるクラスにとけ込めない	1	2	3	4	26
O. 休みの日は一日中家にいる	1	2	3	4	27
P. 自殺する人の気持ちがわかる	1	2	3	4	28
Q. この学校の規則はきびしすぎる	1	2	3	4	29
R. 先生に反発を感じる	1	2	3	4	30
S. はやく社会に出て働きたい	1	2	3	4	31
T. この学校の生徒であることは誇りである	1	2	3	4	32

調査票見本

Q6 次のことは、あなたの生活の中でどの程度の比重を占めていますか。A～Gそれぞれについて、あてはまる番号に○を付けて下さい。

	1	2	3	4	
	生活のすべてである	ての部分を占めている	生活の大部分を占めている	生活の一部を占めている	ほとんどかからない
A. 受験や勉強のこと	1	2	3	4	33
B. クラブ・部活動のこと	1	2	3	4	34
C. 友だち(同性)とのこと	1	2	3	4	35
D. 異性のこと	1	2	3	4	36
E. 音楽のこと	1	2	3	4	37
F. テレビをみること	1	2	3	4	38
G. アルバイトのこと	1	2	3	4	39

Q7 次にあげるA～Vの質問は「その時あなたならどうする? どう思う?」というかたちの質問です。ほく(わたし)なら、こうするだろう、こう思うだろう、という方の番号に○を付けて下さい。

A 朝、目が覚めると頭痛がします。熱をはかると37度。その時あなたなら。

- | | |
|--|----|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 大事をとって学校を休む 2. 多少無理してでも学校へ行く | 40 |
|--|----|

B 朝、家を出て5分ほど歩いたところで、英語の教科書とノートを忘れてきたことに気がつきました。取りに帰ると遅刻しそうです。その時あなたなら。

- | | |
|--|----|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 取りに帰る 2. そのまま学校へ行く | 41 |
|--|----|

C 朝食を食べずに登校したため、2時間目が終わったところで、お腹がすいて仕方がありません。その時あなたなら。

- | | |
|--|----|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 早弁をする 2. 昼食時間までがまんする | 42 |
|--|----|

D いつも通学する電車には日頃からあこがれている彼(彼女)が必ず乗っています。ところが今朝は乗っていません。次の電車だと遅刻するかもしれません。その時あなたなら。

調査票見本

1. 1台電車を待ってみる
2. 待たずに行く

43

E 仲の良い友だちから次の授業に出られないので、かわりに返事をしてくれと頼まれました。その時あなたなら。

1. 引きうける
2. 断わる

44

F 英作文の問題を黒板でやるようにと先生から指名されました。ところが予習してありません。その時あなたなら。

1. 友だちのノートを借りて、そのまま写す
2. 自分の力でやってみる

45

G 授業で難しい質問の答えがわかりました。先生が「誰か答えられる者はいないか?」と言っています。その時あなたなら。

1. 手を上げて答える
2. 先生に指名されるまで待つ

46

H H先生の授業は受験にも関係ないし、いつも退屈でつまりません。その時あなたなら。

1. おしゃべりをしたり、いねむりをしたり、内職をしたりする
2. まじめに授業をうける

47

I 朝、学校に来たら3時間目の授業で提出する宿題を忘れたことに気がつきました。その時あなたなら。

1. 友だちのノートを写してでも、とにかく提出する
2. 提出をあきらめる

48

J 定期試験の最中、どうしてもわからない問題があります。ところが、ふとしたはずみで前の人(クラスで1、2番の人)の答えが見えてしまいました。その時あなたなら。

調査票見本

1. その答えを書いておく
2. 人の答えを写したりはしない

49

K 復習をしていたら授業で先生の言っていたことに誤りがあることがわかりました。翌日、その先生の試験があります。その時あなたなら。

1. 先生の言ったとおり答えを書いておく
2. 自分で勉強したとおりの答えを書く

50

L 期末試験の英語の答案がかえってきました。よく見ると自分のまちがった答えが○になっています。その時あなたなら。

1. 先生に申し出る
2. そのまま黙っている

51

M 午後の英語の授業で、眠くてしかたがありません。あなたは、今、あてられたばかりできょうはもうあたりません。その時あなたなら。

1. 本にかくれるなどして眠ってしまう
2. 目をこすってでも起きている

52

N 電車がストで止まりました。ストの時は無理して学校に行かなくてよいことになっていますが、バスを乗りついで行けば2時間目の授業に間に合いそうです。その時あなたなら。

1. 無理してでも学校に行く
2. 無理せずに休む

53

O 今度の夏休みに一人旅をしようと計画を練り、旅費もためていました。ところが、担任の先生から高校生のひとり旅は禁じると注意されました。その時あなたなら。

1. 計画どおり旅に出る
2. 残念だが計画をとりやめる

54

P 次の日曜日かねてから見たいと思っていた絵の展覧会に行こうと思っていました。ところが仲のよ

調査票見本

い友人から「映画のキップが2枚あるからいっしょに行こう」とさそわれました。その時あなたなら。

1. ひとりで絵を見に行く
2. 友人と映画を見に行く

55

Q なりたくなかったのですが、クラス代表の委員に選ばれてしまいました。きょうも委員会があります。しかし、大事な大会をひかえ、部活動の練習にも出なくてはなりません。その時あなたなら。

1. クラスの代表委員として委員会に出る
2. 大会が大事なので、部活動に出る

56

R 午後、授業のあとで生徒総会(集会)が開かれます。ところが、きょうは予備校(塾)で試験があります。その時あなたなら。

1. 生徒総会(集会)に出る
2. 予備校(塾)に行く

57

S 日頃から、あこがれていた、他校生のS君(さん)とふとしたきっかけで親しくなり、次の休日デートすることになりました。ところが、学校では、他校生との男女交際を禁じています。その時あなたなら。

1. ひそかにデートする
2. デートをあきらめる

58

T 期末試験の答案が返ってきました。英語は山が当たって良い成績でした。数学の点数はあまり良くありませんでしたが、むずかしい証明問題ができていました。その時あなたなら。

1. 英語の点数がよかったことの方がうれしい
2. 数学のむずかしい問題がとけたことの方がうれしい

59

U 東京の大学へ行き、下宿生活をしてみたいと思っています。でも、両親は仕送りはできないといっています。その時あなたなら。

1. アルバイトをしてでも東京の大学に進む
2. 両親に従って地元の大学に進む

60

調査票見本

V 電子工学を学びたいと思っています。合格したのは○X電子工学院(専修学校)と電子工学科のないV大学の工学部。その時あなたなら。

- | | |
|-----------------|----|
| 1. ○X電子工学院に進学する | 61 |
| 2. V大学の工学部に進学する | |

Q8 あなたの学校の教育面の特色と思われることは何ですか。A-Eのそれぞれについてあてはまる番号に○をつけて下さい。

	1 そう思う	2 そう思わない	
A 受験指導に力を入れている	1	2	62
B 就職指導に力を入れている	1	2	63
C クラブや部活動に力を入れている	1	2	64
D 体育祭・文化祭などの行事に力を入れている	1	2	65
E 校則を守らせることに力を入れている	1	2	66

Q9 次にあげるA-hのことは、どのくらいよくないことだと、あなたは思いますか。A-hのそれぞれについて、あてはまるところに○を付けてください。

	とてもよくない	ややよくない	どちらともいえない	それほど悪いことではない	全然悪いことではない	
A 授業をさぼる	1	2	3	4	5	67
B 授業中いねむりする	1	2	3	4	5	68
C 授業中内職をする	1	2	3	4	5	69
D 授業中おしゃべりする	1	2	3	4	5	70
E 授業中ガムをかむ	1	2	3	4	5	71
F 授業の進め方に意見をいう	1	2	3	4	5	72
G 宿題をやってこない	1	2	3	4	5	73
H 友だちのやってきた宿題をうつす	1	2	3	4	5	74
I 教科書やノートを忘れる	1	2	3	4	5	75
J 教科書やノートを学校におきっぱなしにしていく	1	2	3	4	5	76

調査票見本

	とても よくない	やや よくない	どちらとも いえない	それほど 悪いこと ではない	全然悪い ことでは ない	
K カンニングをする	1	2	3	4	5	77
L 学校にマンガをもってくる	1	2	3	4	5	78
M 学校でトランプをする	1	2	3	4	5	79
N 陰で先生の悪口を言う	1	2	3	4	5	80
O 先生にあいさつしない	1	2	3	4	5	77
P 先生をからかう	1	2	3	4	5	8
Q 早弁をする	1	2	3	4	5	9
R 掃除当番をさぼる	1	2	3	4	5	10
S クラス選出の委員や係の仕事をさぼる	1	2	3	4	5	11
T 放課後の部活動をさぼる	1	2	3	4	5	12
U 生徒総会(集会)に出ない	1	2	3	4	5	13
V 図書館の本を無断でもら出す	1	2	3	4	5	14
W 学校を途中でぬけ出す	1	2	3	4	5	15
X カバンをベチャンコにする	1	2	3	4	5	16
Y リーゼントやパーマをかける	1	2	3	4	5	17
Z 学校の服装規定に違反する	1	2	3	4	5	18
a 学校内でタバコをすう	1	2	3	4	5	19
b 学校外でタバコをすう	1	2	3	4	5	20
c 学校構りに寄り道をする	1	2	3	4	5	21
d 友だちと喫茶店に入る	1	2	3	4	5	22

調査票見本

	とても よくない	やや よくない	どちらとも いえません	それほど 悪いこと ではない	全然悪い ことでは ない	
e 友だちの家に泊まる	1	2	3	4	5	23
f 異性と二人だけでデートする	1	2	3	4	5	24
g オートバイに乗る	1	2	3	4	5	25
h 夜10時以降、街をブラつく	1	2	3	4	5	26

Q10

A あなたは学校の大部分の先生からどんな生徒だと思われるか。01-17のそれぞれについて、あてはまる番号に○を付けて下さい。

	1 そう思わ れている	2 どちらとも いえません	3 そう思われ ていない	
01. 授業中おしゃべりの多い生徒だ	1	2	3	27
02. 校則をきちんと守る生徒だ	1	2	3	28
03. こつこつ勉強する生徒だ	1	2	3	29
04. 成績の良い生徒だ	1	2	3	30
05. ユーモアのある生徒だ	1	2	3	31
06. 反抗的な生徒だ	1	2	3	32
07. 本当は、もっと勉強のできる生徒だ	1	2	3	33
08. 遊ぶことが好きな生徒だ	1	2	3	34
09. 友だちつきあいのよい生徒だ	1	2	3	35
10. 独創的な考えをする生徒だ	1	2	3	36
11. スポーツの得意な生徒だ	1	2	3	37
12. クラスの中で人気のある生徒だ	1	2	3	38
13. 異性に人気のある生徒だ	1	2	3	39
14. 目立たない生徒だ	1	2	3	40
15. やってよいことといけないことの判断が できる生徒だ	1	2	3	41
16. 将来偉くなる生徒だ	1	2	3	42
17. この学校の誇りとする生徒だ	1	2	3	43

B ではあなたは先生からどういう生徒だと思われるかと思いませんか。上の01-17のなかからあなたの考えに最も近い番号を一つ選んで下の に記入して下さい。

44 45

C ではあなたは友だちからどういう生徒だと思われるかと思いませんか。上の01-17のなかから一つ選んで次ページの に記入して下さい。

調査票見本

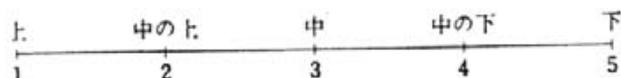
46 47

Q11 あなたは現在自由参加の部活動に参加していますか。

1. 運動部・文化部の両方に参加している
2. 運動部に参加している
3. 文化部に参加している
4. 以前は参加していたが、現在は参加していない
5. 参加したことはない

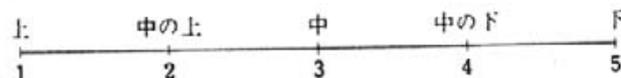
48

Q12 あなたの今の成績は、学校の中で、全体としてどの辺に位置していますか。1つに○を付けて下さい。



49

Q13 では、中学時代の成績は、どうでしたか。1つに○を付けて下さい。



50

Q14 あなたが希望する卒業後の進路は、つぎのどれですか。1つだけ選んで○を付けて下さい。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 就職 | 5. 4年制大学(私立) |
| 2. 家業・家の手伝い | 6. 4年制大学(国公立) |
| 3. 各種学校・専修学校 | 7. その他(具体的に) |
| 4. 短期大学 | 8. まだ決めていない |

51

Q15 あなたにとって、次のようなことは、努力すれば、どの程度できることだと思いますか。A-Sのそれぞれについて当てはまる番号に○を付けて下さい。

	1 必ずで きる	2 多分で きる	3 多分で きない	4 絶対で きない	
A 学年で10番以内の成績に入る	1	2	3	4	52
B 一流大学に入る	1	2	3	4	53
C どこでもいいから大学(四年制)に入る	1	2	3	4	54
D 大企業に就職する	1	2	3	4	55
E 上級試験を受けて中央官庁に入る	1	2	3	4	56
F 地方公務員になる	1	2	3	4	57

調査票見本

	1 必ずで きる	2 多分 で きる	3 多分 で き な い	4 絶対 で き な い	
G 医師や弁護士になる	1	2	3	4	58
H 政治家になる	1	2	3	4	59
I 有名なタレントになる	1	2	3	4	60
J 芸術(文学・音楽・美術)関係の仕事につく	1	2	3	4	61
K 学者・研究者になる	1	2	3	4	62
L プロのスポーツ選手になる	1	2	3	4	63
M 自分の店をもつ	1	2	3	4	64
N お金持(上位10%)になる	1	2	3	4	65
O 恋愛結婚をする	1	2	3	4	66
P 外国でくらす	1	2	3	4	67
Q 趣味にあったくらしをする	1	2	3	4	68
R 仕事と家庭を両立させる	1	2	3	4	69
S 社会のためにつくす人になる	1	2	3	4	70

Q16 あなたは次のA-Gの意見について、どの程度賛成しますか。A-Gのそれぞれについてあてはまる番号に○を付けて下さい。

	1 賛 成 と て も	2 や や 賛 成	3 ど ち ら と も い え な い	4 や や 反 対	5 絶 対 反 対	
A 成績の偏差値にしる、インペーダ-の得点にしる数字で示されると自分にどのくらいの力があるのかよくわかって便利だ。	1	2	3	4	5	71
B 現代の若者は無気力だといわれるが、何かのきっかけがあれば、ものごとに熱中できる。	1	2	3	4	5	72
C 高校時代に仲のよい友だちでも、これからの進路が違えば心が通わなくなる可能性は大きい。	1	2	3	4	5	73
D 先生ににらまれると成績を悪くつけられるかもしれないと心配だ。	1	2	3	4	5	74
E 生徒の発表を取り入れた授業より、先生が一人で理路整然とした授業をすすめた方が能率的だ	1	2	3	4	5	75

調査票見本

	1 賛成 とても	2 やや賛成	3 どちら もいえない	4 やや反対	5 絶対反対	
F ホーム・ルームの運営は生徒にまかせるより先生が長年の経験を生かして指導してくれる方がよい。	1	2	3	4	5	76
G 今の若者は、自分の気持とは逆のことを言ったりしたりすることがある。	1	2	3	4	5	77

最後にあなたのご両親についてうかがいます。

Q17 あなたのおとうさん(または、それにかわる人)は、どのような職業についていますか。あてはまる番号1つに○を付けて下さい。

- | | |
|--|----|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門的・技術的な仕事(医師、技術者、教員、住職など) 2. 管理的な仕事(役所や会社で課長以上の役職についている人) 3. 事務的な仕事(役所や会社、商店などで事務的な仕事をしている人) 4. 販売関係の仕事(店員、セールスマン、外交職員など) 5. 農 林 漁 業 6. 自 営 商 工 業(小売店主や、工場経営者など) 7. 運輸・通信従業者(運転手、郵便配達、鉄道関係など) 8. 技術工、労務関係の仕事(工員、または大工、左官などの職人および人夫など) 9. サービス関係の仕事(理髪師、ホテル・旅館の従業員など) 0. その他(具体的に： _____) | 78 |
|--|----|

Q18 あなたのご両親が最後に卒業された学校はどれですか。おとうさん、おかあさんのそれぞれについてあてはまる番号を選んで、次の の中に記入して下さい。 父親 母親 79 80

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. { 旧制 尋常小学校, 高等小学校 <li style="margin-left: 15px;">新制 中 学 校 2. { 旧制 中学校, 師範学校, 高等女学校, 実業学校 <li style="margin-left: 15px;">新制 高等学校 3. 短期大学, 各種学校 4. { 旧制 高等学校, 高等師範学校, 高等専門学校 <li style="margin-left: 15px;">大 学, 大学院 | <ol style="list-style-type: none"> 5. その他 6. 父(母)はいない |
|---|---|

以上です。ご協力ありがとうございました。

高校生はいま'80

調査時期：1980年5月
 調査対象校：全国の普通科高校から10校
 (A; 4年制大学進学希望率80%以上, B; 同79~55%, C; 同54%以下)
 有効サンプル3,458名(男子1,789名, 女子1,664名, 不明5)

データ篇

Q2	学年	サンプル数	性別		学年別			学校別		
			男子	女子	一年	二年	三年	Aグループ (3校)	Bグループ (4校)	Cグループ (3校)
Q3	性		1,789	1,664	1,109	1,210	1,136	1,113	1,398	947
Q4	ふだんの日の生活時間	1. ほとんどしない	3,458	1,664	1,109	1,210	1,136	1,113	1,398	947
		2. 30分位まで	32.1	33.1	100.0	0	0	31.9	32.5	31.7
		3. 30分~1時間	35.0	35.0	0	100.0	0	35.3	35.4	34.0
		4. 1時間~2時間	32.9	31.9	0	0	100.0	32.5	32.1	34.3
		5. 2時間~3時間	51.7	0	50.3	51.7	53.1	50.4	53.6	50.5
		6. 3時間~4時間	48.1	100.0	49.6	48.2	46.7	49.4	46.2	49.4
		7. 4時間~5時間	8.4	10.7	6.2	12.1	6.5	4.1	7.1	15.3
		8. 5時間以上	5.0	5.6	4.6	6.5	3.9	3.6	4.5	7.5
Q4	週末の生活時間	1. ほとんどしない	13.4	13.0	14.8	15.9	9.4	10.6	11.3	19.9
		2. 30分位まで	27.7	25.6	32.5	30.6	19.9	26.2	26.8	30.6
		3. 30分~1時間	26.2	24.8	27.7	24.2	27.0	31.0	27.8	18.4
		4. 1時間~2時間	13.4	12.7	11.5	8.0	21.0	17.1	15.9	5.4
		5. 2時間~3時間	4.1	5.6	2.1	1.6	8.8	5.4	4.9	1.5
		6. 3時間~4時間	1.7	1.9	0.8	0.6	3.1	1.7	1.4	0.8
		7. 4時間~5時間	4.9	4.5	4.7	3.5	6.6	6.7	4.2	3.7
		8. 5時間以上	6.0	5.6	6.7	4.0	7.6	6.2	7.4	3.8
Q4	週末の生活時間	1. ほとんどしない	22.7	20.3	24.1	20.3	23.9	27.4	24.5	14.6
		2. 30分位まで	36.1	34.7	36.0	35.7	36.9	36.4	36.2	35.8
		3. 30分~1時間	20.8	23.6	20.6	23.4	18.3	17.9	18.6	27.6
		4. 1時間~2時間	6.1	7.4	4.9	8.3	4.9	3.4	6.4	8.8
		5. 2時間~3時間	1.7	1.9	1.6	2.7	0.7	1.0	1.1	3.6
		6. 3時間~4時間	1.2	1.8	1.2	1.7	0.5	0.8	1.1	1.7
		7. 4時間~5時間								
		8. 5時間以上								

データ篇

ふだんの日の生活時間		Q 4										
		外出時間	47.6	46.6	48.7	48.2	47.2	47.4	46.4	51.1	43.8	
Q 4	家トの時間 手伝い・アルバイト	1. ほとんどしない	45.1	64.7	24.0	43.9	44.4	46.8	50.7	45.7	37.5	
		2. 30分位まで	30.2	23.4	37.6	32.3	29.5	29.0	32.5	29.7	28.4	
		3. 30分～1時間	15.9	6.4	26.1	17.1	15.7	15.0	12.2	15.5	20.9	
		4. 1時間～2時間	5.6	3.1	8.2	4.5	6.3	5.9	2.8	5.9	8.4	
		5. 2時間～3時間	1.2	0.6	2.0	1.0	1.4	1.3	0.6	1.4	1.7	
		6. 3時間～4時間	0.5	0.5	0.6	0.3	1.1	0.3	0.3	0.4	1.1	
		7. 4時間～5時間	0.2	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1	0.2	0.2	0.2	
		8. 5時間以上	0.5	0.7	0.2	0.4	0.6	0.4	0.2	0.5	0.7	
Q 5 「よくある」+「ときどきある」	あることとは、次のどのようなくらいのことがありますか(感じたり)	A. 家で予習・復習をする	83.9	79.5	88.7	87.0	80.9	84.2	90.0	83.3	77.8	
		B. 先生にわからないところを質問する	30.2	29.5	30.9	32.3	27.0	31.7	36.9	24.5	30.7	
		C. 友人と勉強や進路のことを話す	78.2	70.9	85.9	71.3	74.5	88.8	79.5	76.8	78.5	
		D. 夏休み前など勉強の計画をたてる	62.3	56.4	68.9	58.9	60.9	67.3	65.2	62.7	58.5	
		E. 学校で異性と話す	67.8	61.1	75.0	62.9	69.7	70.6	71.9	65.2	66.8	
		F. クラブ・部活動に打ち込む	67.2	66.0	68.5	76.5	70.7	54.3	68.4	62.6	72.6	
		G. クラスの仕事(委員など)を進んで引き受ける	24.8	22.1	27.6	26.3	22.8	25.4	28.9	21.4	24.9	
		H. 学校生活は楽しいと感じる	81.0	75.9	86.5	80.0	82.8	80.1	87.6	79.1	75.9	
		I. 学校帰りに友だちと街をぶらつく	41.8	38.9	44.8	37.3	42.9	44.9	47.4	35.6	44.3	
		J. ラジオの深夜放送やDJをきく	59.2	61.8	56.5	55.3	62.3	59.9	51.5	60.4	66.5	
		K. フォークやロックのコンサートに行く	22.8	21.0	24.9	19.4	24.0	25.1	22.2	21.9	25.1	
		L. 学校を休みたいという気持になる	56.6	56.9	56.3	49.5	59.2	60.8	53.8	53.0	65.2	
		M. 学校へいっても友だちとあまり話さない	9.9	11.8	7.8	8.5	10.3	10.8	9.7	10.0	9.9	
		N. 今いるクラスにとけ込めない	17.1	17.2	17.0	11.8	20.4	19.0	17.9	16.8	16.8	
		O. 休みの日は一日中家にいる	66.2	63.2	69.3	63.8	62.2	72.7	67.7	66.2	64.3	

データ篇

Q 5 「ときどきある」 「よくある」 「十」	Q 6 「かなり」 「すべての部分」 「十」	Q 7 その時「あなたならどうする？ どう思う？」	性 別		学 年 別			学 校 別						
			全 体	男 子	女 子	一 年	二 年	三 年	A グループ (3校)	B グループ (4校)	C グループ (3校)			
												41.3	33.6	49.4
P. 自殺する人の気持ちがわかる			35.4	37.9	32.7	27.9	42.4	35.2	4.8	55.8	40.9			
Q. この学校の規則はきびしすぎる			59.6	61.3	57.6	49.3	63.3	65.9	49.7	66.2	61.5			
R. 先生に反感を感じる			39.9	38.8	41.0	35.9	40.7	42.9	28.0	45.3	45.9			
S. はやく社会に出て働きたい			48.4	42.4	54.7	53.2	45.7	46.5	62.1	42.8	40.6			
T. この学校の生徒であることは誇りである			45.3	44.7	46.0	39.2	36.7	60.8	53.6	46.9	33.3			
A. 受験や勉強のこと			32.4	32.7	31.9	33.3	37.1	26.3	34.9	28.7	34.9			
B. クラブ・部活動のこと			50.4	39.9	61.6	49.3	53.3	48.4	51.4	50.6	49.9			
C. 友だち(同性)とのこと			16.3	16.2	16.3	15.0	15.3	18.5	14.1	16.5	18.2			
D. 異性のこと			30.6	33.4	27.8	32.5	30.4	29.1	32.8	28.7	31.0			
E. 音楽のこと			20.4	25.3	14.9	21.8	23.6	15.4	16.1	20.9	24.7			
F. テレビをみること			2.9	3.8	1.7	3.2	3.7	1.7	1.2	2.9	4.6			
G. アルバイトのこと														
A. 頭痛がする時			33.7	30.2	37.6	31.5	36.9	32.7	33.7	32.3	35.9			
1. 学校を休む			66.0	69.5	62.3	68.4	62.7	67.2	66.1	67.5	63.8			
2. 学校へ行く														
B. 教科書を忘れた時			15.0	18.6	11.2	15.2	13.7	16.3	15.9	12.9	17.1			
1. 取りに帰る			84.9	81.3	88.8	84.8	86.2	83.7	84.1	87.0	82.9			
2. そのまま学校へ行く														
C. お腹がすいた時			57.3	64.5	49.5	40.8	62.4	67.9	73.4	39.8	64.0			
1. 早弁をする			42.7	35.4	50.5	59.1	37.6	32.1	26.6	60.0	36.0			
2. 昼食時間までがまんする														
D. 彼(彼女)の乗った電車を			17.0	22.2	11.4	17.7	16.5	16.8	16.6	17.0	17.5			
1. 待つ			82.7	77.3	88.5	82.2	83.3	82.6	83.1	82.8	82.0			
2. 待たずに行く														
E. 代返を頼まれたら			58.6	58.9	58.2	50.9	60.2	64.5	61.8	56.6	57.8			
1. 引きうける			40.9	40.5	41.3	48.6	39.3	34.9	37.4	43.3	41.5			
2. 断わる														

データ篇

全 体	性 別		学 年 別			学 校 別		
	男 子	女 子	一 年	二 年	三 年	A グループ (3校)	B グループ (4校)	C グループ (3校)
	75.7	80.8	70.2	74.8	76.3	73.5	75.8	78.1
Q 7	68.0	61.5	75.1	76.6	60.1	58.0	73.5	71.6
その時、あなたならどうする？ どう思う？	31.3	37.8	24.5	23.0	39.0	40.6	25.0	28.3
Q 8	60.6	57.7	63.7	69.5	49.6	51.5	68.8	59.0
「その時、あなたならどうする？ どう思う？」	38.7	41.5	35.6	30.0	49.7	47.2	30.5	40.9
Q 9	89.4	92.8	85.9	85.5	91.7	91.4	88.8	88.1
	9.8	6.5	13.3	13.9	7.3	7.5	10.3	11.6
	37.2	38.8	35.5	38.7	36.4	37.6	34.2	41.1
	62.3	60.5	64.1	60.6	62.9	61.5	65.2	58.8
	58.7	64.7	52.2	59.2	55.1	60.5	61.5	52.4
	40.5	34.3	47.2	39.9	44.1	37.9	37.8	47.5
	73.1	68.0	78.7	76.9	68.4	65.8	76.5	76.9
	26.1	31.1	20.7	21.9	30.7	32.5	23.0	22.9
	62.4	59.2	65.8	66.5	59.4	59.5	69.8	55.0
	21.4	22.2	20.6	19.4	24.9	2.4	23.2	40.9
	44.0	42.9	45.0	54.4	34.3	42.6	36.5	56.7
	45.6	43.5	47.8	52.0	40.0	57.8	34.6	47.6
	45.8	46.3	45.4	35.0	50.9	3.5	71.5	57.7
	78.9	75.9	82.1	83.5	76.6	71.9	82.0	82.5
	53.7	50.1	57.7	61.9	47.8	45.5	58.1	57.0

データ篇

Q9 「とてもよくない」 + 「ややよくない」		「どのくらいよくないことか」 (逸脱行動への評価)										
C.	授業中内職をする	56.6	53.1	60.6	64.7	53.8	51.7	49.3	61.6	57.8		
D.	授業中おしやべりする	67.2	63.1	71.4	67.2	65.4	68.9	65.1	67.6	68.7		
E.	授業中ガムをかむ	84.9	81.1	89.1	85.1	83.9	86.1	81.3	86.5	87.0		
F.	授業の進め方に意見をいう	9.9	11.9	8.0	9.1	10.5	9.9	11.2	10.2	8.0		
G.	宿題をやってこない	65.5	62.5	69.0	70.1	64.7	62.2	58.9	69.1	68.3		
H.	友だちのやってきた宿題をうつす	57.6	53.8	61.9	60.6	56.3	56.3	55.8	59.0	57.9		
I.	教科書やノートを忘れる	61.1	58.0	64.5	64.1	57.1	62.6	55.9	61.7	66.5		
J.	教科書やノートを学校におきっぱなしにする	37.8	40.9	34.5	40.6	34.7	38.6	18.6	47.7	45.8		
K.	カンニングをする	94.5	92.0	97.2	94.9	93.8	94.9	94.1	94.3	95.2		
L.	学校にマンガをもってくる	22.9	27.0	18.6	30.4	18.9	19.9	11.2	30.0	26.3		
M.	学校でトランプをする	17.1	19.9	14.2	22.4	15.3	13.9	6.7	26.1	16.1		
N.	陰で先生の悪口を言う	23.5	25.1	21.8	28.5	21.3	21.0	22.9	25.1	21.8		
O.	先生にあいさつしない	58.7	51.3	66.8	59.7	55.9	60.8	59.7	57.1	60.0		
P.	先生をからかう	51.2	49.4	53.1	57.5	48.2	48.4	51.9	48.7	54.1		
Q.	早弁をする	16.7	17.4	15.9	28.0	12.7	9.9	7.9	24.5	15.4		
R.	掃除当番をさぼる	69.6	66.9	72.6	73.5	68.1	67.7	61.2	72.5	75.5		
S.	クラス選出の委員や係の仕事をさぼる	79.3	75.7	83.1	80.4	77.7	79.9	74.6	81.3	81.8		
T.	放課後の部活動をさぼる	60.7	60.4	60.9	63.1	57.7	61.5	61.6	59.2	62.0		
U.	生徒総会(集会)に出ない	68.1	64.4	72.2	70.8	66.5	67.3	63.2	72.2	68.0		
V.	図書館の本を無断でもち出す	90.9	88.5	93.4	90.4	90.4	91.7	90.6	91.9	89.6		
W.	学校を途中でぬけ出す	78.7	75.1	82.6	82.3	76.3	77.7	69.7	83.1	82.7		
X.	カバンをベチャンコにする	32.1	32.2	31.9	36.6	28.8	31.1	27.8	38.6	27.2		
Y.	リーゼントやパーマをかける	43.2	41.0	45.7	52.7	38.4	39.0	29.3	52.7	45.7		
Z.	学校の服装規定に違反する	59.2	56.3	62.4	65.1	54.0	59.1	55.6	60.7	61.4		
a.	学校内でタバコをすう	90.7	87.5	94.3	90.9	89.8	91.5	88.8	92.0	91.1		
b.	学校外でタバコをすう	78.9	77.6	80.2	83.8	77.5	75.5	75.1	81.8	79.1		
c.	学校帰りに寄り道をする	16.4	16.9	15.9	24.0	12.6	13.0	10.1	21.2	16.8		
d.	友だちと喫茶店に入る	18.4	18.5	18.3	29.9	14.6	11.1	9.5	25.3	18.5		
e.	友だちの家に泊まる	13.2	14.7	11.6	18.0	11.8	10.2	6.8	18.2	13.4		
f.	異性と2人だけでデートする	4.5	3.6	5.5	7.2	4.1	2.4	2.5	5.8	5.0		
g.	オートバイに乗る	18.5	18.0	19.1	31.1	13.8	11.5	13.2	28.7	9.7		

データ篇

Q 9	学校の先生からどんな生徒とされているか	全体	性別		学年別			学校別		
			男子	女子	一年	二年	三年	A グループ (3校)	B グループ (4校)	C グループ (3校)
			49.4	74.6	69.4	58.1	57.4	54.8	64.1	65.6
Q 10・A 「そう思われている」	h. 夜10時以降、街をブラつく	61.5	49.4	74.6	69.4	58.1	57.4	54.8	64.1	65.6
	01. 授業中おしゃべりの多い生徒だ	13.6	14.5	12.5	13.1	13.9	13.7	12.8	13.0	15.2
	02. 校則をきちんと守る生徒だ	21.2	23.0	19.3	19.4	20.2	24.2	17.5	23.3	22.5
	03. こつこつ勉強する生徒だ	7.8	9.4	6.1	5.9	8.5	9.1	7.5	8.6	7.1
	04. 成績の良い生徒だ	5.5	7.2	3.6	4.9	5.1	6.4	4.8	6.2	5.3
	05. ユーモアのある生徒だ	17.0	18.3	15.6	15.4	17.2	18.2	16.5	17.3	17.0
	06. 反抗的な生徒だ	8.4	10.4	6.2	7.7	8.4	9.1	7.0	8.8	9.4
	07. 本当は、もっと勉強のできる生徒だ	18.0	22.8	12.9	14.9	17.9	21.2	12.8	19.9	21.3
	08. 遊ぶことが好きな生徒だ	33.7	37.6	29.3	31.7	35.7	33.4	32.4	34.1	34.4
	09. 友だちらつきあいのよい生徒だ	32.4	31.6	33.1	29.1	32.4	35.5	30.7	33.9	32.0
	10. 独創的な考えをする生徒だ	11.3	14.1	8.1	11.5	10.3	12.1	11.9	11.6	10.1
	11. スポーツの得意な生徒だ	16.0	20.4	11.2	13.2	17.1	17.7	15.1	16.3	16.7
	12. クラスの中で人気のある生徒だ	6.9	10.1	3.5	6.7	6.1	7.9	6.6	7.6	6.2
	13. 異性に人気のある生徒だ	4.8	7.7	1.6	5.1	3.6	5.6	4.3	4.5	5.7
	14. 目立たない生徒だ	21.3	22.6	19.9	17.4	22.4	23.9	20.1	23.9	18.8
	15. やってよいことといけないことの判断ができる生徒だ	26.8	28.7	24.6	21.6	26.9	32.0	24.3	28.0	28.0
	16. 将来偉くなる生徒だ	7.5	12.1	2.4	7.4	8.4	6.5	6.8	7.4	8.3
17. この学校の誇りとする生徒だ	5.7	8.9	2.2	5.9	5.6	5.6	5.8	5.7	5.7	
Q 10・B 先わ 生れ かた らど うい う 生 徒 と 思	01. 授業中おしゃべりの多い生徒だ	1.0	1.1	0.9	1.3	1.1	0.7	1.1	0.9	1.1
	02. 校則をきちんと守る生徒だ	1.5	1.5	1.6	1.9	1.7	1.1	0.9	1.6	2.2
	03. こつこつ勉強する生徒だ	7.0	5.6	8.5	8.6	6.1	6.8	6.5	7.4	7.1
	04. 成績の良い生徒だ	4.5	3.9	5.1	5.8	4.1	3.9	4.7	4.2	4.6
	05. ユーモアのある生徒だ	6.0	6.3	5.7	7.0	6.2	5.1	5.9	5.6	6.7
	06. 反抗的な生徒だ	1.2	2.0	0.4	0.9	1.2	1.7	1.1	1.5	1.1
	07. 本当は、もっと勉強のできる生徒だ	6.7	8.1	5.2	6.4	6.9	7.2	6.4	5.9	8.2
	08. 遊ぶことが好きな生徒だ	2.5	3.4	1.4	2.0	2.5	3.0	2.4	2.3	2.7
	09. 友だちらつきあいのよい生徒だ	14.2	9.9	18.9	14.2	15.8	13.5	11.6	15.6	15.3

データ篇

Q 10・B	先と先生からたういかう生徒	10. 独創的な考えをすすめる生徒だ	12.3	14.1	10.4	11.7	11.5	14.6	16.6	11.2	9.0	
		11. スポーツの得意な生徒だ	2.8	4.1	1.4	2.9	3.0	2.9	2.7	2.5	3.5	
		12. クラスの中で人気のある生徒だ	5.4	3.1	8.0	4.5	7.0	5.0	4.7	7.3	3.6	
		13. 異性に人気のある生徒だ	1.0	1.4	0.5	1.5	0.8	0.6	0.8	0.6	0.6	1.7
		14. 目立たない生徒だ	3.4	3.2	3.5	2.8	2.6	4.9	3.2	3.5	3.3	
		15. やってよいことといけないことの判断ができる生徒だ	15.1	13.1	17.2	15.1	14.5	16.8	14.6	16.1	14.3	
		16. 将来偉くなる生徒だ	6.3	7.9	4.6	4.9	7.8	6.5	6.9	5.5	6.8	
		17. この学校の誇りとする生徒だ	7.1	9.2	4.7	8.6	7.3	5.7	7.4	7.0	6.8	
		01. 授業中おしゃべりの多い生徒だ	0.3	0.4	0.2	0.8	0.1	0.2	0.4	0.4	0.2	
		02. 校則をきちんと守る生徒だ	0.7	0.8	0.5	0.8	0.6	0.6	0.4	0.5	1.2	
		03. こつこつ勉強する生徒だ	0.7	0.7	0.7	0.5	0.8	0.9	0.5	0.9	0.5	
		04. 成績の良い生徒だ	1.5	1.9	1.0	1.5	1.8	1.3	1.5	1.4	1.6	
		05. ユーモアのある生徒だ	18.7	17.6	20.0	21.1	18.9	17.9	17.8	18.6	20.0	
		06. 反抗的な生徒だ	0.3	0.6	0.1	0.4	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	
		07. 本当は、もっと勉強のできる生徒だ	0.9	1.0	0.8	0.6	1.4	0.5	0.5	0.9	1.3	
		08. 遊ぶことが好きな生徒だ	4.4	5.5	3.1	4.6	4.9	3.9	3.7	4.3	5.3	
		09. 友だちづきあいのよい生徒だ	40.9	36.2	45.9	42.8	42.1	41.4	39.4	43.9	39.8	
10. 独創的な考えをすすめる生徒だ	5.6	6.2	5.0	3.4	5.9	8.0	8.8	4.6	3.3			
11. スポーツの得意な生徒だ	2.5	4.0	0.8	3.4	2.3	1.9	2.2	2.4	2.9			
12. クラスの中で人気のある生徒だ	9.5	6.7	12.6	10.2	9.5	9.7	10.4	9.8	8.0			
13. 異性に人気のある生徒だ	2.5	3.9	1.1	3.2	2.6	2.0	1.8	2.6	3.3			
14. 目立たない生徒だ	1.9	2.2	1.6	1.6	1.5	2.7	1.7	1.6	2.4			
15. やってよいことといけないことの判断ができる生徒だ	3.6	3.6	3.5	2.4	3.3	5.3	3.0	4.1	3.5			
16. 将来偉くなる生徒だ	1.9	3.2	0.4	1.2	2.6	1.9	3.0	1.9	1.7			
17. この学校の誇りとする生徒だ	1.4	2.2	0.5	1.6	1.4	1.4	1.7	1.1	1.5			
Q 11	自部由活参加の	1. 運動部・文化部の両方に参加している	3.0	3.2	2.8	2.9	3.2	6.6	1.4	1.3		
		2. 運動部に参加している	39.8	45.7	33.5	47.0	45.0	27.4	40.2	38.3	41.7	
		3. 文化部に参加している	24.4	16.6	32.8	25.7	25.3	22.4	21.7	23.5	29.0	
		4. 以前は参加していたが、現在は参加していない	18.4	18.7	18.0	8.7	14.0	32.4	18.6	22.0	12.9	
		5. 参加したことはない	13.6	14.9	12.3	14.7	11.7	14.3	12.6	14.2	13.8	
Q12		1. 上	2. 中の上	22.8	25.3	20.2	13.9	25.1	29.2	16.3	29.1	21.3

データ篇

Q	今 の 成 績	全 体	性 別		学 年 別			学 校 別		
			男 子	女 子	一 年 生	二 年 生	三 年 生	A グ ル ー プ (3 校)	B グ ル ー プ (4 校)	C グ ル ー プ (3 校)
Q 12	3. 中 4. 中の下 5. 下	39.6	40.7	38.5	47.4	35.6	35.2	43.8	35.4	41.0
Q 13	1. 上 2. 中の上 3. 中 4. 中の下 5. 下	32.9 46.5	33.7 45.8	32.0 47.1	28.2 46.4	34.3 46.0	35.9 47.1	65.9 30.4	22.1 59.2	10.1 46.7
Q 14	卒業後の進路希望	20.2	20.1	20.3	24.7	19.6	16.5	2.7	18.7	42.9
Q 15	あなたにできるか、努力すれば、ど	5.9	4.1	7.9	4.0	5.8	8.0	0.5	4.9	13.8
	「必ずできる」+「多分できる」	6.5	3.5	9.8	6.0	8.0	5.5	0.8	6.9	12.8
		9.2	0.6	18.5	7.3	8.3	12.1	2.4	11.4	13.9
		14.5	16.4	12.6	10.1	12.9	20.7	15.7	11.9	17.1
		50.7	63.9	36.5	51.8	50.8	49.5	70.5	51.0	26.8
		13.1	11.5	14.7	20.4	13.4	3.6	10.0	13.9	15.4
		39.4	48.0	30.3	40.3	38.3	40.0	34.5	43.5	39.4
		38.2	49.8	25.8	38.0	37.2	39.5	53.9	35.9	23.3
		87.1	91.5	82.4	86.8	85.9	88.8	95.6	89.5	73.4
		49.1	55.4	42.3	50.4	46.3	50.9	56.5	49.8	39.3
		25.6	34.5	16.3	24.9	26.0	26.1	32.6	24.8	18.9
		68.0	73.1	62.4	65.7	67.8	70.4	73.3	69.3	59.8
		17.8	22.8	12.5	19.8	17.0	16.9	25.8	16.2	11.1
		10.8	16.7	4.4	10.4	10.3	11.7	14.5	12.2	7.3
		14.5	16.8	12.1	15.2	14.2	14.1	12.7	15.1	15.7
		36.6	30.9	42.5	37.6	35.0	37.1	32.9	37.8	38.8
		26.1	35.6	15.9	22.2	26.1	30.1	35.6	25.1	16.5

データ篇

Q 15 「必ずできるとし」 「多分できる」とし	あは、あなたにどの程度まで努力が出来ますか	11.1	15.3	6.5	11.5	11.2	10.9	8.5	12.6	12.1
	L. プロのスポーツ選手になる									
	M. 自分の店をもつ	60.8	63.2	58.1	60.4	61.8	60.0	58.1	63.0	60.7
	N. お金持(上位10%)になる	20.5	24.7	15.3	17.9	21.7	20.6	22.1	18.9	19.7
	O. 恋愛結婚をする	82.7	84.6	80.9	82.4	82.3	83.7	82.6	83.0	82.4
	P. 外国でくらす	47.6	49.8	45.3	46.7	47.2	49.1	58.0	45.4	38.8
	Q. 趣味にあったくらしをする	82.1	80.8	83.5	79.4	82.4	84.4	82.7	82.4	81.1
	R. 仕事と家庭を両立させる	86.2	90.0	82.1	86.7	84.8	87.3	86.3	87.4	84.2
	S. 社会のためにつくす人になる	64.9	69.4	60.1	64.7	62.5	67.8	64.5	66.0	64.0
	A. 偏差値人間	50.3	53.1	47.2	49.3	49.5	52.1	51.8	51.6	46.4
	B. 熱中世代	88.4	87.7	89.1	88.5	87.5	89.2	88.7	89.6	86.3
	C. 希薄な人間関係	23.7	23.3	24.2	21.4	22.9	26.7	22.9	23.5	24.8
	D. 教師の権威	28.1	25.5	30.8	33.2	27.1	24.1	29.3	27.2	28.0
E. 教師中心授業	15.2	18.2	12.1	10.2	15.8	19.3	19.6	12.1	14.6	
F. 教師中心のHR	10.2	13.2	7.1	11.6	11.0	8.0	6.8	10.7	13.5	
G. 屈折した心理	55.7	53.9	57.5	47.7	57.6	61.5	56.7	58.4	50.4	
Q 16 「とやがてや成り」 「若者の特質」	1. 専門的・技術的な仕事	14.8	14.3	15.4	14.2	14.7	15.5	18.0	11.9	15.4
	2. 管理的な仕事	20.3	20.2	20.5	21.4	20.2	19.5	32.3	14.9	14.3
	3. 事務的な仕事	14.5	14.5	14.5	13.9	16.0	13.6	13.8	15.4	14.0
	4. 販売関係の仕事	4.5	4.6	4.4	4.3	4.9	4.4	4.5	5.8	2.7
	5. 農林漁業	6.0	6.1	5.8	4.8	6.4	6.8	0.5	2.6	17.3
	6. 自営商工業	12.2	12.5	11.8	11.2	11.9	13.3	14.7	13.3	7.5
	7. 運輸・通信従業者	5.5	5.5	5.5	4.6	6.3	5.5	2.5	6.5	7.5
	8. 技術工、労務関係の仕事	14.7	15.1	14.3	14.8	14.0	15.4	7.5	20.7	14.3
	9. サービス関係の仕事	1.7	1.7	1.7	1.9	1.5	1.8	1.4	2.4	1.2
	0. その他	1.9	1.6	2.1	2.3	1.9	1.4	1.5	1.9	2.2
Q 17 職業	1. 初等	20.1	21.1	19.2	16.6	19.7	24.1	9.9	23.9	26.6
	2. 中等	34.8	34.5	35.2	35.5	34.0	35.1	27.2	40.1	36.0
	3. 短大・各種	2.0	2.2	1.7	2.1	1.6	2.3	1.6	2.3	1.9
	4. 高等	31.5	30.0	32.9	32.1	33.7	28.3	53.8	21.7	19.6
	5. その他	1.1	1.2	1.0	1.2	1.5	0.7	0.7	1.1	1.6
	6. 父(母)はいない	2.0	2.1	1.9	1.6	1.7	2.6	1.2	2.5	2.1
Q 18 ・A 父の学歴	1. 初等	20.1	21.1	19.2	16.6	19.7	24.1	9.9	23.9	26.6
	2. 中等	34.8	34.5	35.2	35.5	34.0	35.1	27.2	40.1	36.0
	3. 短大・各種	2.0	2.2	1.7	2.1	1.6	2.3	1.6	2.3	1.9
	4. 高等	31.5	30.0	32.9	32.1	33.7	28.3	53.8	21.7	19.6
	5. その他	1.1	1.2	1.0	1.2	1.5	0.7	0.7	1.1	1.6
	6. 父(母)はいない	2.0	2.1	1.9	1.6	1.7	2.6	1.2	2.5	2.1

データ篇

Q18・B 母の学歴	全体	性別		学年別			学校別		
		男子	女子	一 年	二 年	三 年	A グループ (3校)	B グループ (4校)	C グループ (3校)
1. 初等	20.4	22.6	18.1	17.2	20.1	24.0	11.1	22.0	29.1
2. 中等	52.7	51.4	54.1	50.9	53.5	53.6	55.9	54.1	47.0
3. 短大・各種	8.2	5.8	10.8	9.5	8.1	7.0	10.7	7.7	5.8
4. 高等	9.1	9.8	8.2	9.6	9.6	8.0	15.9	6.7	4.5
5. その他	0.7	0.9	0.5	0.8	0.7	0.6	0.4	0.8	1.0
6. 父(母)はいない	0.4	0.3	0.5	0.5	0.6	0.3	0.4	0.6	0.3

データ篇

Q5 行動類型の数量化Ⅲ類 カテゴリーウエイト表

質問	回答	回答数	I 軸	II 軸	III 軸
A	1.	2,903	-0.535	-0.014	-0.488
	2.	544	2.871	0.043	2.598
B	1.	1,045	-2.055	0.541	-1.267
	2.	2,407	0.887	-0.235	0.553
C	1.	2,703	-0.556	0.478	-0.618
	2.	742	2.030	-1.756	2.264
D	1.	2,155	-0.932	0.239	-1.184
	2.	1,294	1.554	-0.416	1.973
E	1.	2,344	-0.677	1.225	0.200
	2.	1,101	1.421	-2.610	-0.431
F	1.	2,323	-0.503	0.347	0.200
	2.	1,100	1.080	-0.744	-0.415
G	1.	856	-2.058	1.081	-0.909
	2.	2,596	0.680	-0.358	0.305
H	1.	2,800	-0.763	0.182	0.339
	2.	645	3.319	-0.841	-1.469
I	1.	1,444	0.122	1.578	0.174
	2.	1,998	-0.090	-1.145	-0.145
J	1.	2,048	0.336	0.935	0.271
	2.	1,403	-0.496	-1.366	-0.385
K	1.	791	0.195	3.076	0.265
	2.	2,659	-0.058	-0.918	-0.073
L	1.	1,957	1.086	1.030	-0.583
	2.	1,493	-1.433	-1.356	0.781
M	1.	341	3.081	-2.453	-5.877
	2.	3,109	-0.340	0.270	0.645
N	1.	592	2.301	-1.006	-4.465
	2.	2,858	-0.474	0.206	0.925
O	1.	2,288	-0.168	-0.417	-0.859
	2.	1,163	0.326	0.814	1.687
P	1.	1,427	0.308	0.913	-1.980
	2.	2,022	-0.225	-0.646	1.391
Q	1.	1,223	1.456	1.917	0.391
	2.	2,226	-0.799	-1.054	-0.218
R	1.	2,061	0.864	1.307	-0.251
	2.	1,393	-1.277	-1.939	0.359
S	1.	1,380	0.559	1.364	-0.632
	2.	2,069	-0.370	-0.913	0.424
T	1.	1,673	-1.489	0.000	-0.408
	2.	1,775	1.416	0.089	0.374
個有値			0.119	0.093	0.078
相関係数			0.345	0.305	0.280

注) 回答1. は「よくある+ときどきある」、2. は「ほとんどない」+「全然ない」

データ篇

Q7 状況設定型質問の数量化Ⅲ類 カテゴリーウエイト表

質問	回答	回答数	I 軸	II 軸	III 軸
C	1.	1,980	-1.050	0.865	0.006
	2.	1,476	1.410	-1.159	0.001
E	1.	2,026	-0.983	0.607	0.486
	2.	1,414	1.402	-0.856	-0.715
F	1.	2,249	-0.775	-0.390	1.207
	2.	1,198	1.446	0.730	-2.282
G	1.	525	0.702	1.303	-3.102
	2.	2,930	-0.123	-0.236	0.554
H	1.	2,331	-0.983	0.206	0.550
	2.	1,114	2.055	-0.439	-1.154
I	1.	2,470	-0.165	-0.859	0.626
	2.	971	0.406	2.173	-1.590
J	1.	1,511	-1.225	-1.281	-1.414
	2.	1,923	0.961	1.003	1.118
K	1.	551	-0.762	-2.118	0.429
	2.	2,899	0.144	0.406	-0.072
L	1.	1,316	1.225	1.919	1.307
	2.	2,128	-0.761	-1.190	-0.810
M	1.	1,623	-1.568	0.712	0.464
	2.	1,825	1.394	-0.631	-0.415
Q	1.	2,352	0.793	-0.704	0.525
	2.	1,084	-1.717	1.529	-1.142
R	1.	2,094	0.702	-0.279	1.359
	2.	1,339	-1.088	0.439	-2.125
T	1.	1,285	-0.709	-2.187	-0.497
	2.	2,153	0.427	1.306	0.302
個有値			0.184	0.093	0.090
相関係数			0.429	0.305	0.300

データ篇

Q10 自我像の数量化Ⅲ類 カテゴリーウエイト表

質問	回答	回答数	I 軸	II 軸	III 軸
01	1.	1,689	-0.496	1.492	-0.591
	2.	1,763	0.471	-1.430	0.567
02	1.	734	-0.367	-2.195	3.227
	2.	2,715	0.093	0.596	-0.872
03	1.	1,719	-0.783	-1.534	-0.233
	2.	1,733	0.775	1.526	0.238
04	1.	1,509	-1.035	-1.504	-0.350
	2.	1,940	0.806	1.174	0.275
05	1.	2,463	-0.803	0.475	0.103
	2.	989	2.002	-1.190	-0.252
06	1.	1,760	-0.503	1.006	-1.358
	2.	1,689	0.525	-1.053	1.412
07	1.	2,460	-0.735	-0.406	-0.037
	2.	986	1.833	0.990	0.091
08	1.	1,164	-0.418	2.196	1.476
	2.	2,286	0.214	-1.117	-0.753
09	1.	1,119	-1.061	1.177	2.858
	2.	2,333	0.509	-0.565	-1.368
10	1.	2,436	-0.744	0.167	-0.263
	2.	1,015	1.783	-0.405	0.628
11	1.	2,075	-0.983	0.407	-0.183
	2.	1,376	1.480	-0.609	0.272
12	1.	2,424	-1.022	0.355	0.030
	2.	1,027	2.418	-0.841	-0.066
13	1.	1,916	-1.399	0.296	-0.264
	2.	1,533	1.747	-0.373	0.332
14	1.	2,351	0.295	-0.726	-0.936
	2.	1,101	-0.628	1.549	2.002
15	1.	927	-0.603	-1.464	3.404
	2.	2,520	0.220	0.540	-1.254
16	1.	1,913	-1.250	-0.685	-0.358
	2.	1,536	1.560	0.858	0.440
17	1.	1,523	-1.356	-1.162	-0.397
	2.	1,926	1.077	0.922	0.307
個有値			0.235	0.143	0.094
相関係数			0.485	0.378	0.306

注) 回答の1. は、質問02, 08, 09, 15について「そう思われている」、それ以外では「そう思われている」+「どちらともいえない」
 回答の2. は、質問02, 08, 09, 15については「どちらともいえない」+「そう思われていない」、それ以外は「そう思われていない」

データ篇

Q15 将来像の数量化Ⅲ類 カテゴリーウエイト表

質問	回答	回答数	I 軸	II 軸	III 軸
A	1.	1,364	-1.359	1.100	-1.053
	2.	2,082	0.891	-0.732	0.691
B	1.	1,322	-1.625	1.272	-1.306
	2.	2,114	1.019	-0.787	0.804
C	1.	3,012	-0.283	-0.183	-0.573
	2.	431	1.992	1.295	4.002
D	1.	1,698	-1.232	0.275	-0.949
	2.	1,735	1.201	-0.264	0.938
E	1.	888	-2.246	1.716	-0.880
	2.	2,539	0.789	-0.589	0.314
F	1.	2,350	-0.681	-0.244	-0.978
	2.	1,086	1.472	0.519	2.130
G	1.	618	-2.685	2.400	0.648
	2.	2,823	0.590	-0.526	-0.141
H	1.	373	-3.423	2.674	2.764
	2.	3,070	0.420	-0.324	-0.335
I	1.	503	-2.034	-0.080	4.655
	2.	2,940	0.350	0.011	-0.797
J	1.	1,263	-0.919	-0.899	1.856
	2.	2,174	0.536	0.523	-1.079
K	1.	904	-2.026	1.150	0.014
	2.	2,532	0.724	-0.403	-0.009
L	1.	386	-2.331	0.465	3.972
	2.	3,053	0.296	-0.064	-0.506
M	1.	2,102	-0.729	-0.995	0.480
	2.	1,340	1.147	1.554	-0.761
N	1.	697	-2.041	0.202	2.599
	2.	2,738	0.521	-0.057	-0.670
O	1.	2,862	-0.287	-0.740	-0.136
	2.	563	1.444	3.735	0.735
P	1.	1,647	-1.124	-0.963	0.294
	2.	1,794	1.027	0.885	-0.266
Q	1.	2,840	-0.288	-0.852	0.056
	2.	595	1.346	4.096	-0.258
R	1.	2,980	-0.249	-0.646	-0.250
	2.	459	1.604	4.195	1.622
S	1.	2,246	-0.607	-0.812	-0.288
	2.	1,193	1.136	1.534	0.534
個 有 値			0.262	0.090	0.084
相 関 係 数			0.511	0.300	0.290

注) 回答1. は「必ずできる」+「多分できる」、2. は「多分できない」+「絶対できない」